

学生の確保の見通し等を記載した書類 目 次

○ 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況	…	P. 1
1. 学生の確保の見通し	…	P. 1
(1) 看護学部	…	P. 1
(2) 教養学部	…	P. 5
2. 学生確保に向けた具体的な取組状況	…	P. 6
(1) 看護学部	…	P. 6
(2) 教養学部	…	P. 7
○ 人材需要の動向等社会の要請	…	P. 8
1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	…	P. 8
2. 人材需要の客観的な根拠	…	P. 8

○ 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

1. 学生の確保の見通し

(1) 看護学部

本学看護学部の設置にあたり、以下の「我が国における看護職員の需給見込み」、「福島県内における看護職員の需給見込み」および「看護学部の志願動向」等に鑑み、入学定員を 80 人と定めた。

1) 定員充足の見込み

① 我が国における看護職員の需給見込み

我が国では、急速な少子高齢化の進展と、それに伴う生産年齢人口の減少、社会保障に係る国および地方公共団体の財政負担の増大に対応するため、社会保障改革の全体像や必要な財源を確保することを目的とした各種検討が進められてきた。

平成 24 年 8 月 22 日には、社会保障改革を総合的かつ集中的に推進する目的から、「社会保障制度改革推進法」が成立した。本法律に基づき、社会保障制度改革国民会議が設置され、社会保障制度改革に関する検討が行われてきたが、平成 25 年 8 月 6 日の報告書には、「看護職員については、養成拡大や潜在看護職員の活用を図るために、看護大学の定員拡大及び大卒社会人経験者等を対象とした新たな養成制度の創設、看護師資格保持者の登録義務化等を推進していく必要がある」【資料 1】と言及されている。

このような状況の中で、公益社団法人日本看護協会は、平成 26 年 5 月 8 日に文部科学省高等教育局長宛に「看護職の人材養成に関する要望書」を提出し、「大学における看護師養成の拡充のため、看護学部・看護学科の設置を推進し、また、定員増加の際の施設拡充や教員確保のための支援をお願いしたい」【資料 2】と要望している。

また、厚生労働省では、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（平成 4 年法律第 86 号）に基づく「看護婦等の確保を促進するための措置に関する基本的指針」に従い、今後の高齢社会における保健医療を担う看護師等の確保を図るための施策を展開している。現在、「第七次看護職員需給見通し（平成 23 年～平成 27 年）」を受け、「看護職員受給見通しに関する検討会」において、平成 28 年以降の看護職員需給見通しが、長期的な見通しを含めて検討されている。同検討会の資料によると、「社会保障・税一体改革の試算では、平成 37 年に看護職員が約 196 万人～約 206 万人必要とされており、今後、仮に 3 万人／年のペースで増加しても、約 3 万人～13 万人分のギャップが生じるとされている。この試算も念頭に置いて、国において、看護職員の復職支援や離職防止・定着促進等のための看護職員確保対策を引き続き行っていく」【資料 3】とされており、看護職員の確保が急務とされている。

【資料 1：社会保障制度改革国民会議報告書～確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋～
（平成 25 年 8 月 6 日）】

【資料 2：看護職の人材養成に関する要望書（平成 26 年 5 月 8 日）文部科学省高等教育局長宛】

【資料 3：第 2 回看護職員需給見通しに関する検討会（平成 27 年 12 月 18 日）資料 1】

② 福島県内における看護職員の需給見込み

平成 25 年 3 月に福島県によって策定された「第六次福島県医療計画」は、福島県における医療分野の基本指針となるものである。

同計画においては、「平成 23 年 3 月の東日本大震災・原子力災害により、相双（相馬・双葉）医療圏を中心に多くの看護職員が離職したため、保健・医療・福祉の再建に向けて、看護職員の確保及び看護力の向上が課題となっており、看護職員の確保対策に加え、資質向上の取組も推進する必要があります。（中略）18 歳人口の減少や震災の影響等により、県内看護師等養成施設の受験者数の減少や、新卒者の県内就職率のさらなる低下が予測されるため、看護師等の養成や新卒者の県内確保・定着対策について、一層の強化を図る必要があります。また、在宅医療の進展や医療の高度化・専門化に伴うチーム医療の充実を図るため、安全で質の高い看護サービスを提供できる看護職員の確保が求められています」【資料 4】とされている。

また、同じく平成 25 年 3 月に策定された「福島県看護職員需給計画」は、上記医療計画の部門別計画として位置付けられており、その中で需要に対する供給の充足率は、平成 25 年度 97.4%、平成 26 年度 97.1%、平成 27 年度 97.5%、平成 28 年度 98.2%、平成 29 年度 99.6%と改善がされるものの、需要を充足するには至っていない。【資料 5】

そのため、同計画では、「看護職を目指す学生の確保」を施策の 1 つに掲げており、更に「看護師等養成所の教育体制の充実」として、「医療の高度・専門化に伴う質の高い看護が求められているとともに、看護職を希望する学生の大学志向等の社会情勢を踏まえ、看護師等養成の高等教育化の促進に努めます」【資料 5】と看護基礎教育の高等教育化の促進が掲げられている。

以上のような福島県内における看護職員養成の状況の下、いわき市および公益財団法人福島県看護協会より看護学部設置に関する「要望書」【資料 6・7】が提出されている。

これらは、福島県内における 4 年制大学での看護職員養成に関する社会的要望の強さが窺えるものである。

【資料 4：第六次福島県医療計画（平成 25 年 3 月）】

【資料 5：福島県看護職員需給計画（平成 25 年 3 月）】

【資料 6：要望書（いわき市）】

【資料 7：要望書（公益財団法人福島県看護協会）】

③ 看護学部の志願動向

日本私立学校振興・共済事業団が、毎年報告書としてまとめている「私立大学・短期大学等入学志願動向」【資料 8～10】において、全国私立大学における看護学部の「入学定員」、「志願者数」、「入学者数」は次の通りとなっている。

	H23	H24	H25	H26	H27
入学定員（人）	4,582	4,907	5,302	6,117	7,142
志願者数（人）	28,387	31,250	35,827	37,965	44,257
入学者数（人）	5,186	5,566	5,945	6,722	7,738

平成 23 年度と平成 27 年度との比較で、「入学定員」の増加率は 55.9%、「志願者数」の増加率も 55.9%、「入学者数」の増加率は 49.2%と増加の一途を辿っている。

また、福島県内において看護職員の養成を行う大学は、福島県立医科大学看護学部の 1 校のみであり、先述の「福島県看護職員需給計画」においても、「看護系大学の競争率は 3 倍程度推移しており、充足率は常に 100%を超えています」【資料 5】とある通り、福島県内における看護系大学の競争率は高い。

【資料 8：平成 24（2012）年度私立大学・短期大学等入学志願動向】

【資料 9：平成 26（2014）年度私立大学・短期大学等入学志願動向】

【資料 10：平成 27（2015）年度私立大学・短期大学等入学志願動向】

上記の①から③の状況に鑑みて、本学看護学部の設置については、国および地方公共団体等の施策と合致しており、全国および福島県における看護系学部の志願状況より、入学定員 80 人を充足するものと考えている。

2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

全国の看護系大学の入学状況を見ると、平成 22 年度から平成 26 年度にかけて、全国の 18 歳人口が約 122 万人から約 118 万人と 0.97 倍となる中で、全国の看護系大学は 193 校から 234 校に、入学定員は 15,504 人から 19,674 人と 1.27 倍に、受験者は 79,165 人から 116,275 人へと 1.47 倍に増えている。東北地方においては、看護系大学の整備が全国に比して遅れ、平成 22 年度から平成 26 年度にかけて、看護系大学は 15 校から 16 校に、入学定員は 1,090 人から 1,197 人と 1.10 倍、受験者は 3,704 人から 4,094 人へと 1.11 倍という伸びにとどまっている。特に福島県においては、看護系大学が 1 校のみであり、18 歳人口千人当たりの入学定員は、平成 26 年現在で 4.0 人であり、東北地方の中でも最も低い整備水準にとどまっている【資料 11】。

看護系大学の整備水準が高くなるほど受験者数が多くなる傾向があり、平成 26 年度の状況を見ると、青森県は、18 歳人口千人当たりの入学定員が 27.2 人で、18 歳人口に対する受験者数は 7.8% であり、秋田県は、18 歳人口千人当たり入学定員が 22.0 人で、18 歳人口に対する受験者数は 7.0% となっており、東北地方の中でも 18 歳人口に対する入学定員および受験者数が多くなっている。一方、整備水準が低いほど受験者数が少ない傾向があり、福島県は、前述の通り 18 歳人口千人当たり入学定員が 4.0 人で、18 歳人口に対する受験者数は 1.4% となっており、東北地方の中でも 18 歳人口に対する入学定員および受験者が最も少ない状況となっている。東北地方および全国の状況を見ると、福島県における看護系大学の受験者がこのまま固定化するというのではなく、今後、看護系大学の整備が進めば、新たな入学需要が顕在化することを示している。

本学看護学部の設置にあたり、入学定員を 80 人と定めている。これを定量的データから定員充足の見通しを検証する目的で、株式会社進研アドに依頼し、本学看護学部の志願・入学者層と考えられるいわき市を中心した福島県および隣接県の高校 2 年生を対象にアンケート調査を実施した。

同調査結果において、福島県所在の高校 2 年生（n=2,648）のうち、本学看護学部への入学意向を示した者は、407 人（「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した者の人数）

であり【資料 12】、これは、本学看護学部の初年度の対象人口となる平成 28 年度の福島県の 18 歳人口の 2.05%にあたる（407 人/19,782 人*100=2.05%）。【資料 11】において示したように、18 歳人口に占める看護系大学の受験者は、平成 26 年度、東北地方では 4.5%、全国では 9.8%であることからすると、この本県の 18 歳人口比 2.05%という値はむしろ控え目であるといえることができる。平成 30 年度以降も、本県の 18 歳人口の 2.05%が本学看護学部への強い入学意向を示すとの合理的予測のもとに、各年度の本学看護学部への入学意向者を算出した。その結果、本学看護学部開設後 10 年目まで、入学定員 80 人に対して、県内に限定しても 5.09 倍から 3.95 倍の入学意向者が確保できると推定できる。実際には、他県からの入学意向者も見込まれ、本学看護学部は中長期的に学生を確保することが可能である【資料 13】。

また、アンケート調査を実施するにあたり、看護学部のパンフレットを添付し【資料 14】、看護学部設置の理由、人材養成の目的、学部の特色、入学定員、初年度納入金を明示した。

アンケート調査の実施概要は、次のとおりである。

【アンケート調査実施概要】

ア) 実施期間 : 平成 28 年 1 月 18 日から平成 28 年 2 月 5 日

イ) 調査方法 : 質問項目を 8 問とし、対象校にアンケート用紙を配付し、パンフレットに必要情報を明示した上で実施した。

ウ) 調査対象 : 本学既設学部への志願・入学者に鑑み、対象高校 26 校を選出のうえ、当該高校の 2 年生を対象に実施した。

エ) 有効回答数 : 2,738 人 (回収率 : 76.2%)

※ アンケート調査の質問項目および回答選択肢等については、【資料 12: いわき明星大学「看護学部」(仮称) 設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】結果報告書】を参照。

アンケート調査結果においては、Q4「あなたは、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに一番近いもの 1 つをお選びください。(1 つだけ)」とする設問で受験意向調査を行ったところ、「受験したいと思う」が 466 人(17.0%)、「受験したいと思わない」が 2,195 人(80.2%)、「無回答」が 77 人(2.8%)であった。

次に、Q5「あなたはいわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近いもの 1 つをお選びください。(1 つだけ)」とする設問で入学意向調査を行ったところ、上記 Q4 において、看護学部を「受験したいと思う」と答えた 466 人のうち、看護学部「入学したいと思う」と答えた人が、423 人(90.8%)であった。

この結果により、本学看護学部への受験希望者かつ入学希望者ともに 400 人を超えており、入学定員 80 人の 5 倍を超えている。このため、定量的にも本学が定める定員を充足できるものと考えられる。

【資料 11 : 看護系大学の入学状況 (東北地方 / 全国)】

【資料 12 : いわき明星大学「看護学部」(仮称) 設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】結果報告書】

【資料13：いわき明星大学「看護学部」入学者確保の中長期的な見込み】

【資料14：2017年4月、いわき明星大学に看護学部（仮称）※が誕生します】

3) 学生納付金の設定の考え方

本学看護学部の学生納付金の設定にあたり、入学金については、入学事務手続きに要する各種経費を検証し、授業料については、教育サービスに関わる経費および施設維持に必要な経費等を検証の上、さらに近隣大学における看護系学部の設定状況も参考にしながら、それぞれ適切な金額を設定した。

(千円)

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料※	合計
宮城県	東北福祉大学	健康科	保健看護	100	1,720	1,820
宮城県	東北文化学園大学	医療福祉	看護	300	1,700	2,000
茨城県	茨城キリスト教大学	看護	看護	250	1,620	1,870
栃木県	足利工業大学	看護	看護	270	1,460	1,730
栃木県	獨協医科大学	看護	看護	500	1,350	1,850
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科	看護	300	1,650	1,950
新潟県	新潟青陵大学	看護	看護	300	1,650	1,950
平均	—	—	—	288.6	1,592.9	1,881.4

表は、日本私立大学団体連合会が毎年作成する「学生納付金等調査（平成27年度入学生）」より作成。

※ 「授業料」には、「施設設備費」および「実験・実習・体育費」等を含む。

競合校との比較については、福島県内に看護職員を養成する私立大学がないことから、隣接県にある私立大学（宮城2大学、茨城1大学、栃木2大学、新潟2大学）の看護系学部と比較を行った。入学金については、大学ごとに異なるものの、上記7大学の平均は288.6千円である。同じく授業料についても、上記7大学の平均は1,592.9千円であり、入学金および授業料合計の平均は1,881.4千円であった。

そのため、本学看護学部の入学金および授業料は、上記7校の学生納付金の平均より下回っており、適切な設定と考えている。

(千円)

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300	—	—	—
授業料※	1,500	1,500	1,500	1,500
合計	1,800	1,500	1,500	1,500

※ 授業料には、「施設拡充費」および「臨地実習費用」を含む。

(2) 教養学部

1) 定員充足の見込み

本学教養学部地域教養学科は、人文学部表現文化学科、現代社会学科、心理学科の3学科を、地域社会の求める人材養成により応えていくために発展的に改組転換し、入学定員200人、収容定員800人の1学部1学科体制で、平成27年4月に設置された。本学部では、全人教育の視点に立って、専門教育に裏づけられた確かな「基礎学力」をもち、他者とのコミュニケーション能力や困難を乗り越える忍耐力を備え、自ら主体的に考え行動できる社会人・職業人となるために必要な「社会人基礎力」と「汎用的技能」を身につけた、これからの地域社会を支える中核的人材、すなわち「地域基盤型職業人」の養成を目的に掲げている。

しかし、平成27年度の入学者数は、入学定員200人に対して89人となり、定員超過率は0.44倍であった。平成23年3月の東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により、特に福島県外からの入学者が激減したことから【資料15】、いわき市を中心とした高校訪問の強化、オープンキャンパスの充実、メディアの積極的な活用を行ったものの、定員の充足には至らなかった。

理由としては、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響が未だ続いていること、加えて平成27年度の高卒生動向として、これまで本学へ一定程度入学してきた進路多様校（卒業後に就職する生徒が比較的多い高校）の生徒の就職状況が極めて良好であったため、卒業後の進路を大学進学から就職へと大きく変更したことが要因と考えられる【資料16】。

なお、本学の既設の薬学部の入学者の福島県内外の出身状況【資料17】を見ると、平成24年度においては東日本大震災の影響を受け県外からの入学者が落ち込んだものの、25年度以降は県外からの入学者が増加傾向にあり、28年においては入学者の割合が25.3%にまで達している。薬学部では「高度専門職業人」を育成しており、教養学部における「一般職業人」の育成とは異なり、将来の目標を定めている受験者層の進路選択の際に福島第一原子力発電所事故の影響や就職状況が良好であること等の影響は受けないことを示している。薬学部と同様に看護学部は「専門職業人」の育成とした学部であり、高校卒業後、就職するという進路との競合はなく、高校卒業者の求人状況が好調であることが、本学看護学部の入学者確保にマイナスの影響を及ぼすことはないと思われる。

また、リクルート進学総研の調べでも、福島県の18歳人口予測は平成27年と平成38年との比較で22.4%低下する見通しである。大学等への進学の際の残留率も、東北地方では山形県に次いで19.3%と低い【資料18】。このような状況に鑑み、教養学部の現状の定員を充足させることは、今後も困難であるものと想定されることから、看護学部への定員振替を行い、教養学部の定員を200人から120人とする。

【資料15：いわき明星大学人文学部・教養学部入学者の福島県内外出身状況】

【資料16：新規高卒者の雇用状況（平成26年2月末現在）】

【資料17：いわき明星大学薬学部入学者の福島県内外出身状況】

【資料18：リクルート進学総研 マーケットレポートVol.13 2015年12月号】

2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

(1) 看護学部

平成 27 年度における本学志願者の都道府県別出身高校の内訳は、大学志願者数 405 人のうち福島県内高校出身者は 249 人で 61.5%を占めており、さらに、隣接県の宮城県および茨城県の 3 県を合わせた志願者数は 334 人で 82.0%と 8 割を超えている【資料 19】。

看護学部においても、福島県およびその近隣に所在する高校の出身者が主たる志願・入学者層であると考えられることから、看護学部の学生確保に向けて、以下の取組を実施する。

【資料19：都道府県別入学志願者数 推移表】

1) 看護学部専任教員を活用した学生募集活動

本学看護学部は、平成 29 年 4 月開設を目指しており、看護学部の専任教員として 29 人を予定している。通常、平成 29 年 4 月開設の場合、就任も平成 29 年 4 月となるが、本学では専任教員 29 人のうち 8 人を開設前年の平成 28 年 4 月に就任させる。

平成 28 年 4 月に就任する専任教員予定者は、次年度以降の授業計画の詳細、各臨地実習先との打合せ等、学部開設に向けた教育準備を進めるとともに、以下の取組を実施することで、受験生、保護者、高校の教員へ看護学部開設に関する訴求力を高める。

- ・ 看護学部への理解・関心の向上を図るため、オープンキャンパス時に、学部紹介および模擬講義を看護学部専任教員予定者が行う。
- ・ 受験生、高校の教員との接触機会の増大を図るため、看護学部専任教員予定者による高校訪問を実施する。また、要望により積極的に出張講義を行う。

2) 受験生・保護者・高校の教員への取組

看護学部の開設に向けて、受験生、保護者、高校の教員への訴求力向上を目的に、次の施策に取り組む。

- ・ 看護学部を広く社会一般へ PR するため、本学ホームページ上に看護学部開設に関する特設サイトを設ける。
- ・ 看護学部の特化した「学部紹介リーフレット」を作成し、オープンキャンパス等のイベント参加者や資料請求者へ配付する。
- ・ 受験生、保護者の看護学部への理解向上を図るため、看護学部の特化した個別相談や模擬講義等の各種イベントとあわせた、オープンキャンパスを年間 5 回開催する。
- ・ 看護師を目指す高校生を対象に、オープンキャンパスと連動した「進路フェスタ」を実施し、看護学部への理解促進を図る。
- ・ 看護学部開設に関する情報を広く高校等へ提供するため、福島県、宮城県、茨城県を中心に教職員による高校訪問、予備校訪問を実施する。
- ・ 通学圏内であるいわき市および隣接する市区町村を重点地域と定め、高校訪問、予備校訪問をさらに強化する。
- ・ 看護学部の訴求力向上を図るため、福島県内の高校の教員を対象とした「学部開設説明会」を実施する。

- ・ 高校および受験生の多様なニーズに応えるため、キャンパス見学会および看護学部に関する個別相談を随時受け入れる。

3) 地域で活躍することを志望する学生を確保するための取組

本学では、看護学部専任教員 30 名のうち 8 名を学部開設年度の前年度である平成 28 年度から就任させ、開設準備業務に当たらせることとしており、特に学生確保に向けた取組としては、教員予定者が、オープンキャンパス時に学部紹介および模擬授業を行い、本学看護学部の設置の理念、特色を伝える。また、高校サイドへのアプローチについても、教員予定者が高校訪問を実施し、高校からの要望に応じて積極的に出張講義を行う。

入学者選抜については、推薦入学試験では、調査書および面接により選考を行い、学習能力・人物とともに志望理由を見極める。特に地域推薦 A（いわき市および近隣地域に居住、もしくは通学している高等学校が当該地域に所在する生徒が対象）は、別途小論文を課し、一般入学試験においても、学力試験とあわせて調査書の提出を求め、選考を行うことによって地域に定着する人材を選抜する。

さらに、地域で活躍することを志望・志向する学生を確保するための具体的な取組として、看護学部開設特別講演会、および実習指導者講習会を主催して、地域の看護力の向上を図り、地域に貢献する大学であることを周知、広報する。

4) 地域への取組

本学では、産学官連携による人材育成の強化と、高校生や保護者に関する進路のアドバイスを行うことを目的に、『地域連携協議会』を設立している。本協議会をとおして、高校をはじめ、地方自治体、企業、医療機関に対して、看護学部の養成する人材、教育研究の情報を発信し、受験生の確保に努めるとともに、次の施策を実施する。

- ・ 看護学部の訴求力を高めるため、看護学部の専任教員による福島第一原子力発電所事故後の地域医療に関する公開講座を実施する。
- ・ 看護学部の地域での認知度向上を図るため、ニュースリリースを始めとした情報発信を積極的に行う。

5) その他の取組

大学開学 30 周年と看護学部開設予定が平成 29 年度であることから、本学の知名度・認知度向上を目的とした周年事業、ノベルティ企画、募金活動等のプロジェクト事業を実施する。

(2) 教養学部

1) 定員の振替

教養学部の学生確保については、まず、看護学部の設置が認可された場合に、看護学部への定員振替を行い、教養学部の定員を 200 人から 120 人とするすることで、定員充足率の向上を図る。

2) 受験生・高校等への取組

教養学部は、「地域基盤型職業人」の養成を目標に掲げ、特色の 1 つとしてキャリア教育を充実

させている。その成果として、いわき市および福島県を中心とした地域において中核となる人材の養成を果たすことによって、志願者を確保することができると思う。

このため、教養学部で行っている授業や取組を広く高校生へ情報発信するため、次の施策を実施する。

- ・ 教養学部の理解促進を図るため、高大接続の一環として、教養学部の学生と高校生による「地域の将来」をテーマとした連携授業を実施する。
- ・ 地域における教養学部の意義を訴求するため、東日本大震災で被害を受けた宮城県、福島県、茨城県の沿岸地域において、教養学部の専任教員による「地域と社会」「震災復興」をテーマとした出張講義を行うとともに、教養学部の設置の目的、人材養成の目的、授業内容等の説明を行う。
- ・ 教養学部の教育内容を広く発信するため、いわき市を中心とした高校の教員へ、教養学部の1年次必修科目である「フレッシューズセミナー1・2」の授業を公開する。
- ・ 本学の理解促進を図るため、先述した『地域連携協議会』に参画している高校（現在 24校）を対象に、大学説明会を実施する。

○ 人材需要の動向等社会の要請

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学看護学部は、看護職についての全国的・地域的な人材ニーズおよび本学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」を踏まえ、教育研究対象の学問分野を「保健衛生学関係（看護学関係）」とする。

本学看護学部は、幅広い教養と豊かな人間性を養い、看護職として必要とされる基本的な知識・技能・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための能力を養い（すなわちESD:Education for Sustainable Developmentを実践し）、人々の健康の保持増進に寄与することのできる人材を養成する。

このため、本学看護学部は、中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像」（平成17年1月28日）において示されている大学の機能のうち、「特定の専門的分野の教育・研究」および「社会貢献機能」を重点的に担うことを目指す。

2. 人材需要の客観的な根拠

毎年輩出することとなる看護学部80人の卒業生について、社会的、地域的な人材需要の動向を定量的データにより検証する目的から、株式会社進研アドに依頼し、福島県内にある医療機関（病院、診療所・クリニック、訪問看護ステーション、保健所・保健センター等）に対し、アンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施概要は、次のとおりである。

【アンケート調査実施概要】

ア) 実施期間 : 平成28年1月18日から平成28年2月5日

イ) 調査方法 : 質問項目を11問とし、対象医療機関にアンケート用紙を配付し、実施した。

ウ) 調査対象 : いわき市を中心とした福島県内にある医療機関 132 機関を任意に抽出、当該機関を対象とした。

エ) 有効回答数 : 132 件 (回収率 : 31.8%)

※ アンケート調査の質問項目および回答選択肢等については、【資料 20: いわき明星大学「看護学部」(仮称) 設置に関するアンケート調査【医療機関対象調査】結果報告書】を参照。

アンケート調査結果において、Q9「貴院・貴団体(ご回答者)は、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)はこれからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまるもの1つだけ)」とする設問で社会的ニーズ調査を行ったところ、回答結果は、「必要だと思う」が 131 件 (99.2%)、「必要だと思わない」が 0 件 (0.0%)、「無回答」が 1 件 (0.8%) であった。

次に、Q10「貴院・貴団体では、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つだけ)」とする設問で採用意向調査を行ったところ、回答結果は、「採用したいと思う」が 120 件 (90.9%)、「採用したいと思わない」が 10 件 (7.6%)、「無回答」が 2 件 (1.5%) であった。

最後に、Q11「採用を考える場合、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した看護師について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまるもの1つだけ)」とする設問で採用者数の想定調査を行ったところ、回答結果は、最低でも1学年の定員を大幅に超える毎年 223 人のニーズがあることが判明した。

この結果により、本学看護学部が社会的、地域的な人材需要を踏まえたものであると考えられる。

【資料 20: いわき明星大学「看護学部」(仮称) 設置に関するアンケート調査【医療機関対象調査】結果報告書】

学生の確保の見通し等を記載した書類【資料】

目 次

- 【資料 1】 社会保障制度改革国民会議報告書～確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋～
(平成 25 年 8 月 6 日)
- 【資料 2】 看護職の人材養成に関する要望書 (平成 26 年 5 月 8 日) 文部科学省高等教育局長宛
- 【資料 3】 第 2 回看護職員需給見通しに関する検討会 (平成 27 年 12 月 18 日資料 1)
- 【資料 4】 第六次福島県医療計画 (平成 25 年 3 月)
- 【資料 5】 福島県看護職員需給計画 (平成 25 年 3 月)
- 【資料 6】 要望書 (いわき市)
- 【資料 7】 要望書 (公益社団法人福島県看護協会)
- 【資料 8】 平成 24 (2012) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向
- 【資料 9】 平成 26 (2014) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向
- 【資料 10】 平成 27 (2015) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向
- 【資料 11】 看護系大学の入学状況 (東北/全国)
- 【資料 12】 いわき明星大学「看護学部」(仮称) 設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】 結果報告書
- 【資料 13】 いわき明星大学「看護学部」入学者確保の中長期的な見込み
- 【資料 14】 2017 年 4 月、いわき明星大学に看護学部(仮称) ※が誕生します。
- 【資料 15】 いわき明星大学人文学部・教養学部入学者の福島県内外出身状況
- 【資料 16】 新規高卒者の雇用状況 (平成 26 年 2 月末現在)
- 【資料 17】 いわき明星大学薬学部入学者の福島県内外出身状況
- 【資料 18】 リクルート進学総研 マーケットレポート Vol.13 2015 年 12 月号
- 【資料 19】 都道府県別入学志願者数 推移表
- 【資料 20】 いわき明星大学「看護学部」(仮称) 設置に関するアンケート調査【医療機関対象調査】 結果報告書

社会保障制度改革国民会議 報告書

～確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋～

平成25年8月6日

社会保障制度改革国民会議

この財政支援については、病院等の施設や設備の整備に限らず、地域における医療従事者の確保や病床の機能分化及び連携等に伴う介護サービスの充実なども対象とした柔軟なものとする必要がある。

いずれにせよ、消費税増収分の活用の前提として、地域医療ビジョン、地域包括ケア計画等の策定を通じ、地域の住民にもそれぞれの地域の医療や介護サービスに対する還元のありようが示されることが大切である。

(6) 医療の在り方

医療の在り方そのものも変化を求められている。

高齢化等に伴い、特定の臓器や疾患を超えた多様な問題を抱える患者が増加する中、これらの患者にとっては、複数の従来の領域別専門医による診療よりも総合的な診療能力を有する医師（総合診療医）による診療の方が適切な場合が多い。これらの医師が幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を提供することで、地域によって異なる医療ニーズに的確に対応できると考えられ、さらに、他の領域別専門医や他職種と連携することで、全体として多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することができる。

このように「総合診療医」は地域医療の核となり得る存在であり、その専門性を評価する取組（「総合診療専門医」）を支援するとともに、その養成と国民への周知を図ることが重要である。

もちろん、そのような医師の養成と並行して、自らの健康状態をよく把握した身近な医師に日頃から相談・受診しやすい体制を構築していく必要がある。これに併せて、医療職種の職務の見直しを行うとともに、チーム医療の確立を図ることが重要である。医療従事者の確保と有効活用の観点からは、さらに、激務が指摘される医療機関の勤務環境を改善する支援体制を構築する等、医療従事者の定着・離職防止を図ることが必要である。特に、**看護職員については、養成拡大や潜在看護職員の活用を図るために、看護大学の定員拡大及び大卒社会人経験者等を対象とした新たな養成制度の創設、看護師資格保持者の登録義務化等を推進していく必要がある。**

なお、医療職種の職務の見直しは医師不足問題にも資するものがある。医師不足と言われる一方で、この問題は必ずしも医師数の問題だけではなく、医師でなければ担えない業務以外の仕事も医師が担っているために医師不足が深刻化している側面がある。その観点から、医師の業務と看護業務の見直しは、早急に行うべきである。

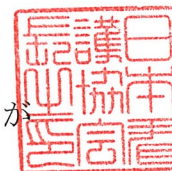
加えて、死生観・価値観の多様化も進む中、改革推進法（第6条第3号）にも規定されているとおり、「個人の尊厳が重んぜられ、患者の意思がより尊重されるよう必要な見直しを行い、特に人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境を整備すること」が求められている。

医療の在り方については、医療提供者の側だけでなく、医療を受ける国民の側

平成 26 年 5 月 8 日

文部科学省高等教育局長
吉田 大輔 殿

公益社団法人 日本看護協会
会 長 坂 本 す が



看護職の人材養成に関する要望書

我が国の医療・介護をめぐる社会情勢は変革期にあり、医療・介護提供体制のあり方が大きく見直されています。この中において、保健師・助産師・看護師は、保健・医療・福祉の幅広い分野において、生活の視点から療養を支え、健康を守る専門職として活躍しています。今後も社会からのニーズに応え、看護職が更に活躍の場を広げ、より高度な役割を果たすために、基盤となる基礎教育の重要性は非常に高く、看護系大学及び大学院への期待は高まっています。

看護職が大学、大学院において、専門職として必要な質の高い基盤教育を受け、卒業後も継続して能力の開発と向上に努め、誇りを持って看護を提供するために、教育機会を確保し、質の高い教育体制を整備することは、国の重要な責務と考えられます。

つきましては、下記についてご尽力を賜りますよう、強く要望致します。

記

1. 大学における質の高い看護師教育の推進

- 1) 看護学部・看護学科及び大学院の設置と定員拡充の推進
- 2) 大学における看護師のみの教育課程の推進
- 3) 大学と地域の医療機関との連携の中での看護師の育成
- 4) 大学既卒者のための看護系大学における学士編入学の推進

2. 大学院における保健師・助産師教育の推進

看護職の人材養成に関する要望

1. 大学における質の高い看護師教育の推進

1) 看護学部・看護学科及び大学院の設置と定員増加の推進

大学における看護師養成の拡充のため、看護学部・看護学科の設置を推進し、また、定員増加の際の施設拡充や教員確保のための支援をお願いしたい。併せて、大学院の設置も推進されたい。これらの円滑な推進のために看護学教育に関する調査及び指導、助言を行う体制の強化を要望する。

要望の背景

人口構造・疾病構造の変化等に対応する形で、医療・介護提供体制が大きく見直されている中、それぞれの看護職が、今以上に活躍の場を広げ、より大きな役割を果たすことが期待されている。看護職が時代の要請に応じて、生涯を通じて能力開発に努め、様々な場で専門性を発揮するためには、養成教育の中で基盤となる高い資質を身につける必要がある。このため、大学において、基盤となる判断力・洞察力・思考力等を涵養し、同時に広い視点を身につけ、豊かな人間性を形成することが重要である。

学生からも、大学で看護を学びたいというニーズが大きく、年々入学志望者は増加しており、これに応じて看護系大学も増加している。新設大学のみならず、既存の大学でも、養成数の増加をはかることが望まれるが、定員増加に伴う施設設備の拡充や教員の確保が必要となるため、財政的支援をお願いしたい。

更に、看護領域を開発・展開し、より国民のニーズに応えられる看護実践のあり方を追及していくためには、大学院における高度な研究・教育が不可欠である。大学院修士課程、博士課程の積極的な設置推進が望まれる。

近年、看護系大学・大学院の認可、指定、指導等にかかる業務が非常に増えており、また大きな責任を伴っていることから、貴局において看護学教育に関する調査及び指導、助言を行う体制の強化を図られたい。

看護職員需給見通しの今後の進め方について（案）

1. 看護職員需給見通しについて

- 看護職員については、これまで、医療提供体制の変化等を踏まえた看護職員の需給見通しに基づき、看護師等の養成や就業者数の確保を図っており、概ね5年ごとに通算7回にわたり需給見通しを策定してきた。
第7次需給見通しは、平成23年から27年までの5年間について策定された。その策定方法については、医療機関等へ調査を行い、都道府県が需要数・供給数について都道府県ごとに積み上げを行い、厚生労働省で取りまとめを行った。
- 平成28年以降の看護職員需給見通しの策定の在り方等を検討するため、「看護職員需給見通しに関する検討会」を開催した。
【検討会の検討事項】
 - （1）看護職員需給見通しの策定
 - （2）長期的な看護職員需給見通しの推計
 - （3）看護職員確保対策の検討
- 平成26年12月1日に開催した第1回検討会では、
 - ① 都道府県が策定する地域医療構想を盛り込む、平成30年からの都道府県の地域医療計画との整合性の観点から、平成30年からの需給見通しを策定すること
 - ② 次期需給見通しは平成28、29年の2カ年として、第7次需給見通し等の策定時に行った医療機関等への調査は行わず、簡易な方法により策定することとされ、②について検討会で引き続き議論することとされた。
- その後、都道府県においては、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）の医療需要を踏まえた地域医療構想の策定が進められている。
この地域医療構想の策定による病床の機能分化・連携に対応していくためには、看護職員のみならず医師やリハビリ関係職種を含めた医療従事者の需給について、見直しを検討することが必要となった。
- このため、地域医療構想との整合性の確保等の観点を踏まえ、医師及び看護職員等の医療従事者の需給を見通し、医療従事者の確保対策等について検討するため、「医療従事者の需給に関する検討会」を開催することとし、平成27年12月10日に第1回検討会が開催された。
【検討会の検討事項】
 - （1）医療従事者の需給の見通しについて
 - （2）医療従事者の確保策、地域偏在対策等について

- 看護職員の需給見通しについては、新たに開催する「医療従事者の需給に関する検討会」の「看護職員需給分科会」において、地域医療構想における 2025 年の医療需要等を踏まえて今後検討する。

これに伴い、平成 28、29 年の 2 ヶ年の看護職員需給見通しは策定せず、「看護職員需給見通しに関する検討会」は、「看護職員需給分科会」へ検討事項を引き継いで終了する。

2. 看護職員確保対策について

- 看護職員確保対策は、看護職員需給見通しを策定し、その達成のための対策を講じることを基本として実施してきた。

こうした観点から、国及び都道府県において、今後とも、看護職員需給見通しの策定及び看護職員確保対策を行っていく。

- **社会保障・税一体改革の試算では、平成 37 年（2025 年）に看護職員が約 196 万人～約 206 万人必要とされており、今後、仮に 3 万人／年のペースで増加しても、約 3 万人～13 万人分のギャップが生じるとされている。**

この試算も念頭に置いて、国において、看護職員の復職支援や離職防止・定着促進等のための看護職員確保対策を引き続き行っていく。

- 都道府県においては、平成 29 年度までの現行の地域医療計画等をもとに看護職員確保対策が実施されるが、国においては、1. の看護職員需給見通しの今後の進め方について都道府県への十分な説明を行うとともに、都道府県の実情に応じて必要な助言等を行う。

第六次福島県医療計画



ふくしまから
はじめよう。

平成25年3月
福島県保健福祉部

第4節 保健師・助産師・看護師・准看護師

現状と課題

- 本県の看護職員の就業者数は、平成22年末現在24,115人であり、平成21年3月に策定した「福島県看護職員需給計画」における平成22年の看護職員需要見込み数24,533人に対する達成率は98.3%となっており、平成22年における人口10万人当たりの看護職員の就業者数は全国平均を上回っています。
- しかしながら、平成23年3月の東日本大震災・原子力災害により、相双医療圏を中心に多くの看護職員が離職したため、保健・医療・福祉の再建に向けて、看護職員の確保及び看護力の向上が課題となっており、看護職員の確保対策に加え、資質向上の取組も推進する必要があります。

図表2-2-4-1 東日本大震災前後の病院の看護職員の就業状況の推移

	H23.3.1 ①	H24.3.1 ②	H24.4.1 ③	H24.7.1 ④	H24.9.1 ⑤	H24.11.1 ⑥	増減 ⑥-①
県北	3,391	3,429	3,542	3,537	3,498	3,515	124
県中	4,080	4,001	4,172	4,173	4,189	4,128	48
県南	922	978	989	970	974	968	46
会津・南会津	2,480	2,482	2,539	2,575	2,543	2,546	66
相双	1,188	680	724	737	738	739	▲449
いわき	2,495	2,519	2,599	2,629	2,609	2,607	112
合計	14,556	14,089	14,565	14,621	14,551	14,503	▲53

資料：福島県保健福祉部調べ

- 平成24年度の県内看護師等養成施設（26施設）の1学年の総定員数は1,125人となっています。18歳人口の減少や震災の影響等により、県内看護師等養成施設の受験者数の減少や、新卒者の県内就職率のさらなる低下が予測されるため、看護師等の養成や新卒者の県内確保・定着対策について、一層の強化を図る必要があります。
- また、在宅医療の進展や医療の高度化・専門化に伴うチーム医療の充実を図るため、安全で質の高い看護サービスを提供できる看護職員の確保が求められています。

福島県看護職員需給計画

平成25年3月
福島県保健福祉部

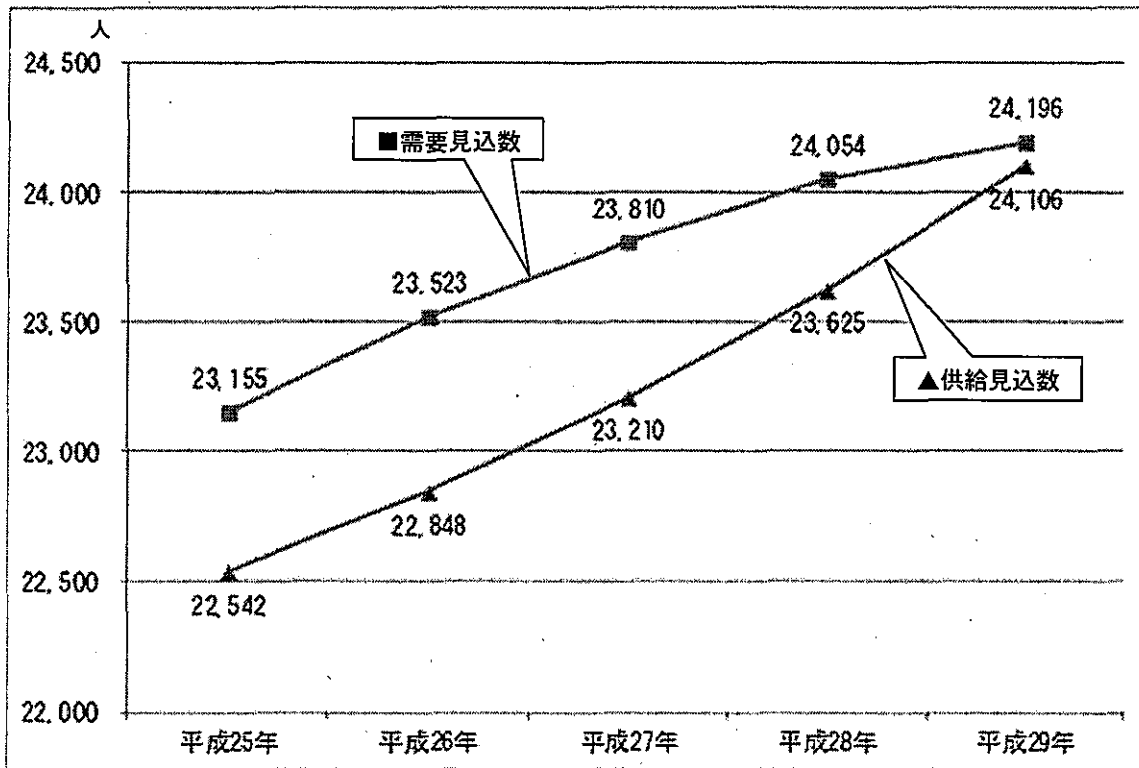
第4章 看護職員の需給見通し

1 平成25年から平成29年までの需給見通し

表13 平成25年から平成29年までの需給見通し

	需要数 A	供給数					充足率 (%) F/A×100
		年当初 就業者数 B	新卒就業者数 C	再就業者数 D	退職等による 減少数 E	年末就業者数 F=B+C+D -E	
平成25年	23,155	22,356	744	96	654	22,542	97.4
平成26年	23,523	22,542	839	96	629	22,848	97.1
平成27年	23,810	22,848	854	108	600	23,210	97.5
平成28年	24,054	23,210	874	108	567	23,625	98.2
平成29年	24,196	23,625	893	120	532	24,106	99.6

図12 看護職員需給見通し(平成25年~29年)



2 需要数及び供給数の考え方

(1) 看護職員の需要数

- 病院は、震災前の状態への機能回復、入院基本料^{※4}の引き上げ及び看護職員による専門外来の導入等医療機能の強化に伴う需要数を踏まえました。
- 診療所、介護保険施設、訪問看護ステーション、社会福祉施設及び助産所は施設数及び就業者の推移を踏まえ見込みました。

施策の方向性と目標**1 看護職を目指す学生の確保****(1) 中学生、高校生等を対象とした看護職の普及啓発**

18歳人口が減少する中、看護職を目指す学生を確保していくためには、進学や職業を選択する早い段階から、看護への興味と関心を高めるとともに、看護職の活躍の場等を紹介することが重要であることから、教育庁や看護関係団体、看護師等養成施設と連携して、看護職の魅力ややりがい等への理解を深めるための普及啓発に努めます。

(2) 看護師等養成施設のPR

看護職を目指す学生や社会人が看護師等の資格取得の方法や県内の養成施設への入学方法について理解を深めるため、教育庁や看護関係団体等、看護師等養成施設と連携して、学校案内や学生募集に関する情報の提供に努めます。

2 看護師等養成所の教育体制の充実**(1) 看護教員・実習指導者の育成**

看護師等養成所の専任教員や実習施設における実習指導者の確保、資質の向上を支援するため、国の研修等の情報を提供するとともに、関係団体等と連携・協力し、専任教員や実習指導者の養成及び現任者に対する研修等の開催に努めるとともに、看護師等養成所や実習施設からの計画的な受講を促進します。

(2) 教育環境の充実

看護師等養成所の円滑な運営や教育施設の設備等の充実を図るため、教育環境の整備を支援します。

(3) 准看護師養成所から看護師養成所への移行支援

看護基礎教育制度の動向や准看護師養成所設置者の意向を踏まえつつ、准看護師養成所から看護師養成所への移行を支援します。

(4) 看護基礎教育の高等教育化の促進

医療の高度・専門化に伴う質の高い看護が求められているとともに、看護職を希望する学生の大学志向等の社会情勢を踏まえ、看護師等養成の高等教育化の促進に努めます。

指標名	現 状 (平成24年度)	目 標 値 (平成29年度)	備 考
看護師等養成所の入学定員に対する充足率	94.3%	98.0%以上	【データの出典】 ・看護学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査 【算定式】 ・充足率＝入学者数／入学定員

2 看護師等養成施設における入学状況

県全体でみると競争率（受験者数に対する入学者数）はほぼ横ばいで、充足率（1学年定員数に対する入学者数）は9割程度で推移しています。また、県内入学者の割合は8割以上で推移しており、特に、平成24年度は県内入学者の割合が91.8%と平成23年度を3.6ポイント上回っています。

養成施設の種別ごとにみると、看護系大学の競争率は3倍程度で推移しており、充足率は常に100%を超えています。県内の入学者の割合は8割以上で推移していますが、平成24年度の県内入学者の割合は91.7%と前年と比較して17.3ポイント上回っています。

看護師養成所3年課程、2年課程及び准看護師課程の競争率はほぼ横ばいですが、いずれも平成24年度は定員に満たない状況となっています。特に看護師養成所2年課程の充足率は低下傾向にあり、平成24年度は77.8%と前年を7.8ポイント下回っています。

文部科学大臣
馳 浩 様

要 望 書

平成 28 年 3 月 17 日

福島県いわき市長

清水 敏男



いわき明星大学の「看護学部」開設について

東日本大震災から5年が経過した中、本市は、力強い復興と創生に向けた取組を鋭意進めているところでありますが、少子高齢化が進む状況で市民の健康な暮らしを支えるうえでは、地域医療・保健・福祉分野の充実が極めて重要な課題となっているところであります。

特に、看護師の需要は高まる一方であり、地域医療の再建に向けた看護職員の確保、定着、さらには看護力の向上を図ることは急務の課題となっております。

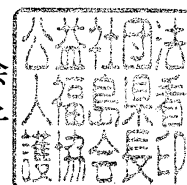
このような中、いわき明星大学に看護学部が開設されますことは、いわき地域における地域医療の担い手の育成ばかりでなく、地域全体の看護師の技能及び市民福祉の向上にも大きく寄与するものと考えております。

つきましては、学校法人いわき明星大学が、いわき明星大学に看護学部を開設できますよう、特段の御配慮をお願いいたします。

平成28年 1月15日

学校法人いわき明星大学
理事長 小川 哲生 様

公益社団法人福島県看護協会
会長 高橋 京子



要 望 書

厳寒の候 貴職におかれましては、わが国の教育・研究の充実発展のためこれまで多大のご尽力を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます。

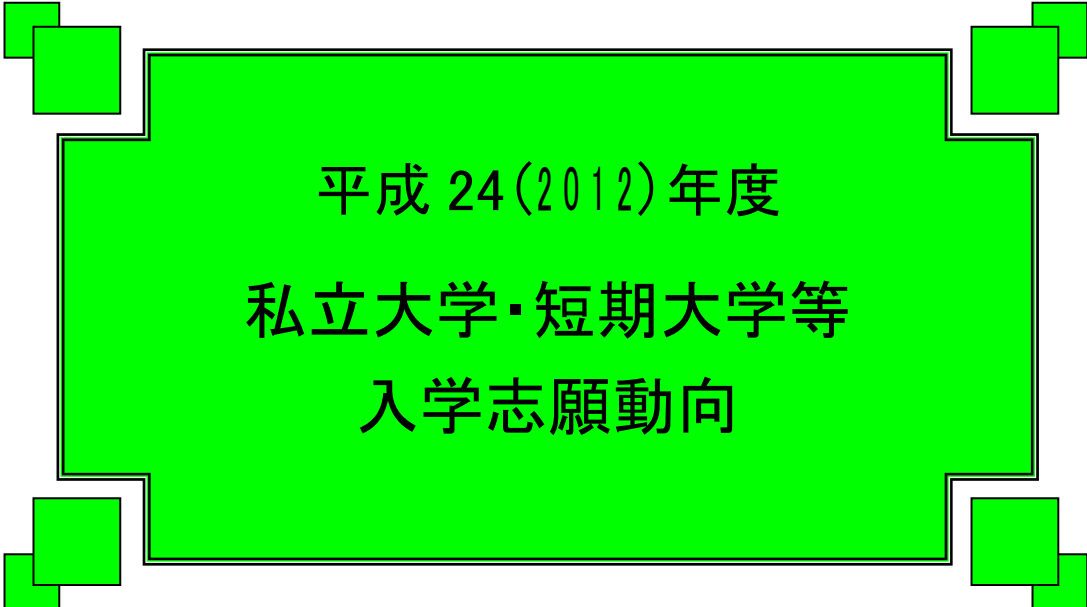
さて、このたびいわき明星大学におかれましては、看護学部の設置計画を発表され、教養学部、薬学部と合わせ3学部体制の実現に取り組まれる意向と承り、大変心強く感じております。

医療・看護を取り巻く環境は、少子・超高齢社会の進展に伴い、医療・介護のニーズは増大し、多様化・複雑化しており、我が国は「地域包括ケアシステム」への構築へとかじを切り、従来の病院完結型から地域完結型への転換が図られてきています。したがって、これからの看護職は、医療と生活の両方の視点を持ち、多様な職場で役割を発揮することが求められています。

このため看護師の資質や能力の一層の向上が求められている中、4年制カリキュラムの看護基礎教育による看護師養成は必要不可欠であり、看護大学が1校しかない本県においては喫緊の課題であります。

また、いわき明星大学の既存の教養学部、薬学部との相乗効果により、広い教養と基礎学力、さらには多様化への対応力を備えた看護師の養成が可能となると大いに期待しております。

以上の趣旨をご理解いただき、是非とも看護学部設置を実現されますよう、格段のご配慮、お取組みを要望申し上げます。



平成 24(2012)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

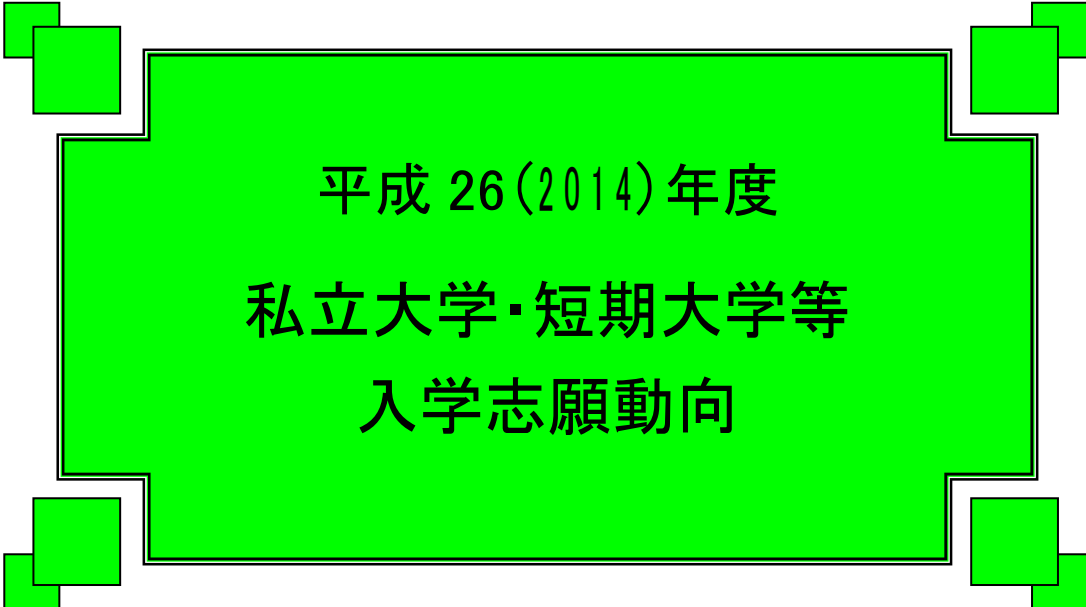
日本私立学校振興・共済事業団

私学経営情報センター

5. 主な学部別の志願者・入学者動向(大学)

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

区 分	集計学部数			入学定員 (人)			志願者 (人)			入学者数 (人)			入学定員充足率 (%)		
	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減
医学	29	29	0	3,516	3,552	36	82,305	84,899	2,594	3,536	3,587	51	100.57	100.99	0.42
歯学	17	17	0	2,190	2,070	△120	4,927	5,626	699	1,524	1,668	144	69.59	80.58	10.99
薬学	57	57	0	11,719	11,579	△140	76,517	82,573	6,056	11,284	11,631	347	96.29	100.45	4.16
保健系	146	154	8	22,254	23,414	1,160	123,017	138,556	15,539	24,303	25,708	1,405	109.21	109.80	0.59
看護学部	51	54	3	4,582	4,907	325	28,387	31,250	2,863	5,186	5,566	380	113.18	113.43	0.25
保健医療学部	21	22	1	3,435	3,605	170	16,444	18,162	1,718	3,700	4,001	301	107.71	110.98	3.27
リハビリテーション学部	10	11	1	905	965	60	3,364	3,847	483	954	1,042	88	105.41	107.98	2.57
医療保健学部	6	6	0	1,370	1,370	0	8,078	9,912	1,834	1,407	1,417	10	102.70	103.43	0.73
保健科学部	5	5	0	995	995	0	4,406	4,688	282	1,139	1,145	6	114.47	115.08	0.61
栄養学部	4	4	0	732	732	0	4,116	4,330	214	753	745	△8	102.87	101.78	△1.09
医療福祉学部	4	4	0	996	996	0	2,827	2,656	△171	989	964	△25	99.30	96.79	△2.51
医療技術学部	3	3	0	1,490	1,490	0	10,727	12,750	2,023	1,763	1,751	△12	118.32	117.52	△0.80
看護福祉学部	3	3	0	630	630	0	3,780	3,362	△418	726	672	△54	115.24	106.67	△8.57
保健福祉学部	3	3	0	560	660	100	2,017	2,238	221	588	714	126	105.00	108.18	3.18
医療科学部	3	3	0	825	875	50	3,951	4,788	837	841	986	145	101.94	112.69	10.75
ヒューマンケア学部	3	3	0	537	577	40	3,260	3,902	642	604	637	33	112.48	110.40	△2.08
その他	30	33	3	5,197	5,612	415	31,660	36,671	5,011	5,653	6,068	415	108.77	108.13	△0.64
理・工学系	146	147	1	59,127	59,254	127	528,263	553,755	25,492	64,154	63,518	△636	108.50	107.20	△1.30
工学部	53	53	0	25,485	25,500	15	162,466	172,975	10,509	27,086	26,708	△378	106.28	104.74	△1.54
理工学部	25	25	0	15,914	15,884	△30	206,691	212,180	5,489	17,933	17,342	△591	112.69	109.18	△3.51
理学部	13	13	0	3,970	3,990	20	46,793	48,344	1,551	4,645	4,598	△47	117.00	115.24	△1.76
情報科学部	5	5	0	1,180	1,180	0	12,799	14,217	1,418	1,281	1,298	17	108.56	110.00	1.44
生命科学部	5	5	0	1,240	1,245	5	16,804	16,495	△309	1,414	1,300	△114	114.03	104.42	△9.61
デザイン工学部	3	4	1	680	890	210	9,564	10,841	1,277	787	1,047	260	115.74	117.64	1.90
その他	42	42	0	10,658	10,565	△93	73,146	78,703	5,557	11,008	11,225	217	103.28	106.25	2.97
農学系	17	17	0	7,000	6,960	△40	69,494	72,512	3,018	8,096	7,921	△175	115.66	113.81	△1.85
農学部	6	6	0	2,460	2,460	0	38,209	37,607	△602	2,885	2,798	△87	117.28	113.74	△3.54
獣医学部	3	3	0	720	740	20	9,294	9,712	418	859	858	△1	119.31	115.95	△3.36
その他	8	8	0	3,820	3,760	△60	21,991	25,193	3,202	4,352	4,265	△87	113.93	113.43	△0.50
人文科学系	242	239	△3	72,231	70,835	△1,396	509,202	505,198	△4,004	78,117	74,956	△3,161	108.15	105.82	△2.33
文学部	86	85	△1	35,157	34,525	△632	294,148	297,607	3,459	39,290	38,053	△1,237	111.76	110.22	△1.54
人文学部	34	34	0	8,990	8,705	△285	40,095	37,283	△2,812	8,754	8,000	△754	97.37	91.90	△5.47
外国語学部	28	28	0	9,791	9,831	40	60,527	60,599	72	10,824	10,734	△90	110.55	109.19	△1.36
心理学部	13	14	1	2,005	2,105	100	15,803	16,997	1,194	2,162	2,236	74	107.83	106.22	△1.61
人間学部	13	12	△1	3,000	2,865	△135	10,944	9,857	△1,087	3,072	2,820	△252	102.40	98.43	△3.97
国際文化学部	8	8	0	1,775	1,825	50	12,479	11,691	△788	1,657	1,722	65	93.35	94.36	1.01
神学部	6	6	0	200	200	0	844	969	125	189	186	△3	94.50	93.00	△1.50
人間関係学部	6	5	△1	1,386	1,070	△316	6,409	2,938	△3,471	1,538	1,183	△355	110.97	110.56	△0.41
仏教学部	5	5	0	485	485	0	1,808	1,993	185	592	531	△61	122.06	109.48	△12.58
現代文化学部	5	4	△1	955	720	△235	2,976	1,444	△1,532	1,012	651	△361	105.97	90.42	△15.55
文芸学部	3	3	0	1,180	1,180	0	11,926	12,581	655	1,304	1,328	24	110.51	112.54	2.03
その他	35	35	0	7,307	7,324	17	51,243	51,239	△4	7,723	7,512	△211	105.69	102.57	△3.12
社会科学系	506	510	4	168,716	168,952	236	1,195,979	1,133,175	△62,804	177,696	172,115	△5,581	105.32	101.87	△3.45
経済学部	94	94	0	41,318	41,413	95	316,771	300,762	△16,009	44,260	42,228	△2,032	107.12	101.97	△5.15
法学部	80	80	0	31,513	31,513	0	238,692	219,525	△19,167	33,733	33,027	△706	107.04	104.80	△2.24
経営学部	75	79	4	23,209	24,035	826	182,440	170,465	△11,975	24,395	24,419	24	105.11	101.60	△3.51
商学部	30	30	0	14,515	14,581	66	122,469	114,532	△7,937	16,185	15,491	△694	111.51	106.24	△5.27
社会福祉学部	23	23	0	5,349	5,379	30	13,953	13,485	△468	4,868	4,733	△135	91.01	87.99	△3.02
社会学部	20	21	1	7,370	7,452	82	74,928	73,965	△963	7,869	7,763	△106	106.77	104.17	△2.60
経営情報学部	16	14	△2	3,455	2,940	△515	8,713	5,957	△2,756	3,283	2,773	△510	95.02	94.32	△0.70
総合政策学部	12	12	0	3,225	3,225	0	23,342	23,427	85	3,367	3,185	△182	104.40	98.76	△5.64
情報学部	12	11	△1	3,070	2,575	△495	12,409	11,036	△1,373	3,094	2,457	△637	100.78	95.42	△5.36
人間社会学部	11	11	0	2,590	2,700	110	10,886	11,329	443	2,627	2,737	110	101.43	101.37	△0.06
現代社会学部	10	10	0	1,985	1,985	0	10,026	9,709	△317	1,874	1,917	43	94.41	96.57	2.16



平成 26(2014)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

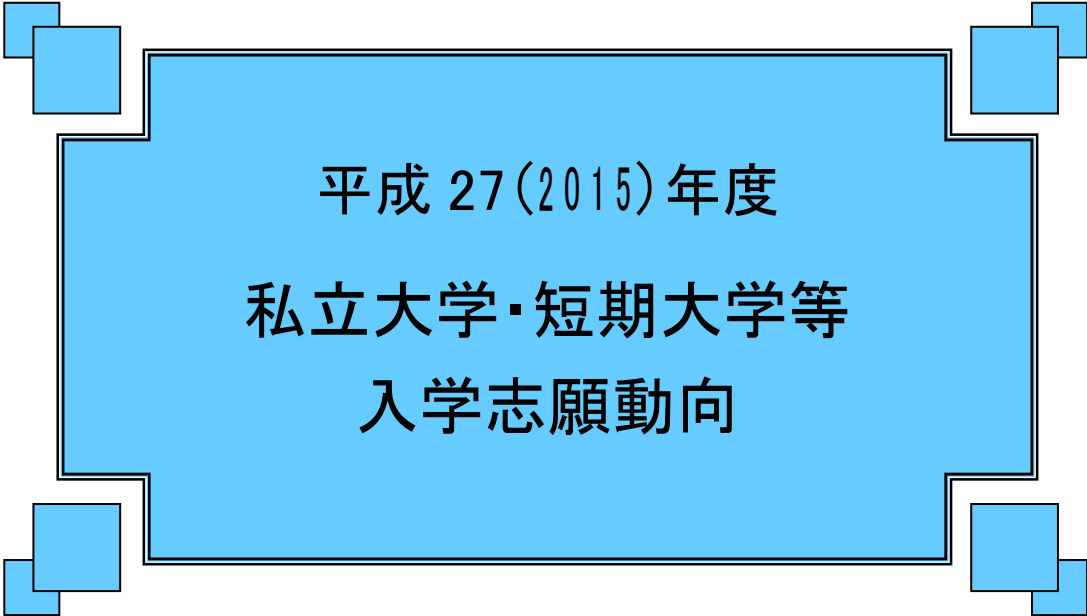
日本私立学校振興・共済事業団

私学経営情報センター

5. 主な学部別の志願者・入学者動向(大学)

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

区 分 学 部 名	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減
医学	29	29	0	3,660	3,668	8	97,521	110,427	12,906	3,691	3,736	45	100.85	101.85	1.00
歯学	17	17	0	2,063	2,063	0	6,466	8,029	1,563	1,694	1,755	61	82.11	85.07	2.96
薬学	57	57	0	11,524	11,484	△40	104,253	121,877	17,624	12,556	12,225	△331	108.96	106.45	△2.51
保健系	161	175	14	24,734	27,033	2,299	157,627	164,659	7,032	27,307	29,156	1,849	110.40	107.85	△2.55
看護学部	58	66	8	5,302	6,117	815	35,827	37,965	2,138	5,945	6,722	777	112.13	109.89	△2.24
保健医療学部	23	29	6	3,645	4,565	920	20,233	25,098	4,865	4,151	5,015	864	113.88	109.86	△4.02
リハビリテーション学部	11	10	△1	965	905	△60	4,602	4,759	157	1,035	1,013	△22	107.25	111.93	4.68
医療保健学部	6	6	0	1,450	1,610	160	11,028	12,062	1,034	1,513	1,728	215	104.34	107.33	2.99
保健科学部	5	5	0	1,075	1,075	0	5,711	5,761	50	1,211	1,173	△38	112.65	109.12	△3.53
栄養学部	4	4	0	732	732	0	4,422	4,267	△155	787	711	△76	107.51	97.13	△10.38
医療福祉学部	4	4	0	1,016	1,016	0	2,900	2,602	△298	983	940	△43	96.75	92.52	△4.23
医療学部	4	4	0	380	420	40	661	736	75	378	391	13	99.47	93.10	△6.37
医療技術学部	3	3	0	1,490	1,540	50	12,774	11,923	△851	1,738	1,810	72	116.64	117.53	0.89
看護福祉学部	3	3	0	630	630	0	3,686	3,394	△292	702	603	△99	111.43	95.71	△15.72
保健福祉学部	3	3	0	675	675	0	2,565	2,278	△287	710	696	△14	105.19	103.11	△2.08
看護栄養学部	3	3	0	437	437	0	2,215	1,915	△300	473	465	△8	108.24	106.41	△1.83
医療科学部	3	3	0	875	878	3	5,471	5,348	△123	986	1,025	39	112.69	116.74	4.05
ヒューマンケア学部	3	3	0	597	597	0	5,467	4,712	△755	661	657	△4	110.72	110.05	△0.67
その他	28	29	1	5,465	5,836	371	40,065	41,839	1,774	6,034	6,207	173	110.41	106.36	△4.05
理・工学系	147	146	△1	59,211	59,281	70	607,166	651,819	44,653	64,934	64,437	△497	109.67	108.70	△0.97
工学部	52	54	2	24,965	25,657	692	196,721	212,798	16,077	27,308	27,681	373	109.39	107.89	△1.50
理工学部	26	27	1	16,435	16,660	225	230,769	247,188	16,419	17,912	18,007	95	108.99	108.09	△0.90
理学部	13	13	0	4,056	4,056	0	49,726	51,870	2,144	4,574	4,588	14	112.77	113.12	0.35
情報科学部	5	5	0	1,186	1,186	0	15,293	17,469	2,176	1,390	1,262	△128	117.20	106.41	△10.79
生命科学部	5	5	0	1,157	1,175	18	17,110	16,700	△410	1,241	1,307	66	107.26	111.23	3.97
デザイン工学部	4	4	0	902	907	5	11,588	12,493	905	1,023	1,029	6	113.41	113.45	0.04
環境学部	3	3	0	480	450	△30	3,258	3,862	604	553	500	△53	115.21	111.11	△4.10
その他	39	35	△4	10,030	9,190	△840	82,701	89,439	6,738	10,933	10,063	△870	109.00	109.50	0.50
農学系	17	17	0	6,960	6,960	0	77,662	82,167	4,505	7,814	7,789	△25	112.27	111.91	△0.36
農学部	6	6	0	2,460	2,460	0	40,357	42,225	1,868	2,755	2,756	1	111.99	112.03	0.04
獣医学部	3	3	0	740	740	0	10,663	11,567	904	855	861	6	115.54	116.35	0.81
その他	8	8	0	3,760	3,760	0	26,642	28,375	1,733	4,204	4,172	△32	111.81	110.96	△0.85
人文科学系	238	238	0	70,568	70,257	△311	512,645	511,565	△1,080	75,409	73,365	△2,044	106.86	104.42	△2.44
文学部	86	87	1	34,895	35,137	242	294,203	281,937	△12,266	38,140	37,644	△496	109.30	107.13	△2.17
人文学部	32	31	△1	7,893	7,385	△508	38,038	36,331	△1,707	7,621	7,094	△527	96.55	96.06	△0.49
外国語学部	27	28	1	9,721	9,886	165	65,062	78,682	13,620	10,728	10,615	△113	110.36	107.37	△2.99
心理学部	14	14	0	2,069	2,065	△4	16,737	15,337	△1,400	2,325	2,109	△216	112.37	102.13	△10.24
人間学部	14	14	0	3,155	3,120	△35	11,049	11,261	212	3,316	3,053	△263	105.10	97.85	△7.25
国際文化学部	8	8	0	1,834	1,704	△130	12,167	12,807	640	1,756	1,599	△157	95.75	93.84	△1.91
神学部	6	6	0	200	183	△17	1,012	935	△77	177	177	0	88.50	96.72	8.22
仏教学部	5	5	0	485	485	0	1,967	1,574	△393	517	475	△42	106.60	97.94	△8.66
人間関係学部	5	5	0	1,070	1,070	0	3,040	3,334	294	1,135	1,092	△43	106.07	102.06	△4.01
グローバル・コミュニケーション学部	3	3	0	610	610	0	3,069	3,147	78	518	572	54	84.92	93.77	8.85
現代文化学部	4	4	0	720	720	0	1,412	1,443	31	646	629	△17	89.72	87.36	△2.36
文芸学部	3	3	0	1,180	1,180	0	13,722	13,293	△429	1,341	1,312	△29	113.64	111.19	△2.45
その他	31	30	△1	6,736	6,712	△24	51,167	51,484	317	7,189	6,994	△195	106.73	104.20	△2.53
社会科学系	507	505	△2	167,324	165,517	△1,807	1,156,547	1,146,575	△9,972	171,992	168,524	△3,468	102.79	101.82	△0.97
経済学部	93	94	1	41,275	40,343	△932	293,774	301,231	7,457	42,435	41,104	△1,331	102.81	101.89	△0.92
法学部	81	82	1	31,428	31,476	48	231,867	228,674	△3,193	33,197	33,095	△102	105.63	105.14	△0.49
経営学部	79	82	3	24,165	25,083	918	188,060	188,841	781	25,189	25,498	309	104.24	101.65	△2.59
商学部	30	31	1	14,456	14,606	150	114,926	107,856	△7,070	15,511	15,109	△402	107.30	103.44	△3.86
社会福祉学部	23	23	0	5,169	5,069	△100	12,918	12,603	△315	4,708	4,644	△64	91.08	91.62	0.54
社会学部	20	20	0	7,279	7,269	△10	73,736	70,406	△3,330	7,697	7,642	△55	105.74	105.13	△0.61
経営情報学部	14	13	△1	2,880	2,740	△140	5,527	5,117	△410	2,513	2,175	△338	87.26	79.38	△7.88
総合政策学部	12	12	0	3,161	3,157	△4	22,134	22,099	△35	3,045	2,886	△159	96.33	91.42	△4.91
情報学部	11	9	△2	2,480	2,020	△460	10,772	10,795	23	2,448	2,144	△304	98.71	106.14	7.43



平成 27(2015)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

5. 主な学部別の志願者・入学者動向(大学)

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

区 分 学 部 名	集計学部数			入学定員 (人)			志願者 (人)			入学者数 (人)			入学定員充足率 (%)		
	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減
医学	29	29	0	3,668	3,709	41	110,427	110,851	424	3,736	3,751	15	101.85	101.13	△ 0.72
歯学	17	17	0	2,063	2,063	0	8,029	9,898	1,869	1,755	1,840	85	85.07	89.19	4.12
薬学	57	57	0	11,484	11,564	80	121,876	116,498	△ 5,378	12,224	11,816	△ 408	106.44	102.18	△ 4.26
保健系	175	192	17	27,033	28,998	1,965	164,659	170,604	5,945	29,156	31,205	2,049	107.85	107.61	△ 0.24
看護学部	66	78	12	6,117	7,142	1,025	37,965	44,257	6,292	6,722	7,738	1,016	109.89	108.35	△ 1.54
保健医療学部	29	30	1	4,565	4,845	280	25,098	24,934	△ 164	5,015	5,424	409	109.86	111.95	2.09
リハビリテーション学部	10	10	0	905	905	0	4,759	4,165	△ 594	1,013	926	△ 87	111.93	102.32	△ 9.61
医療保健学部	6	6	0	1,610	1,610	0	12,062	9,813	△ 2,249	1,728	1,679	△ 49	107.33	104.29	△ 3.04
保健科学部	5	6	1	1,075	1,165	90	5,761	5,628	△ 133	1,173	1,288	115	109.12	110.56	1.44
栄養学部	4	5	1	732	832	100	4,267	5,167	900	711	834	123	97.13	100.24	3.11
医療学部	4	4	0	420	420	0	736	759	23	391	393	2	93.10	93.57	0.47
医療福祉学部	4	4	0	1,016	1,016	0	2,602	2,487	△ 115	940	849	△ 91	92.52	83.56	△ 8.96
医療技術学部	3	3	0	1,540	1,540	0	11,923	12,057	134	1,810	1,790	△ 20	117.53	116.23	△ 1.30
看護栄養学部	3	3	0	437	437	0	1,915	2,007	92	465	480	15	106.41	109.84	3.43
看護福祉学部	3	3	0	630	630	0	3,394	3,118	△ 276	603	634	31	95.71	100.63	4.92
医療科学部	3	3	0	878	878	0	5,348	4,888	△ 460	1,025	1,038	13	116.74	118.22	1.48
保健福祉学部	3	3	0	675	655	△ 20	2,278	2,106	△ 172	696	691	△ 5	103.11	105.50	2.39
ヒューマンケア学部	3	3	0	597	617	20	4,712	4,687	△ 25	657	621	△ 36	110.05	100.65	△ 9.40
その他	29	31	2	5,836	6,306	470	41,839	44,531	2,692	6,207	6,820	613	106.36	108.15	1.79
理・工学系	146	147	1	59,281	59,933	652	651,819	665,838	14,019	64,437	65,164	727	108.70	108.73	0.03
工学部	54	54	0	25,657	25,542	△ 115	212,798	225,857	13,059	27,681	27,847	166	107.89	109.02	1.13
理工学部	27	29	2	16,660	17,411	751	247,188	251,299	4,111	18,007	18,725	718	108.09	107.55	△ 0.54
理学部	13	13	0	4,056	4,056	0	51,870	47,664	△ 4,206	4,588	4,360	△ 228	113.12	107.50	△ 5.62
情報科学部	5	5	0	1,186	1,166	△ 20	17,469	18,776	1,307	1,262	1,320	58	106.41	113.21	6.80
生命科学部	5	5	0	1,175	1,201	26	16,700	17,537	837	1,307	1,210	△ 97	111.23	100.75	△ 10.48
デザイン工学部	4	4	0	907	907	0	12,493	13,105	612	1,029	998	△ 31	113.45	110.03	△ 3.42
環境学部	3	2	△ 1	450	350	△ 100	3,862	2,307	△ 1,555	500	384	△ 116	111.11	109.71	△ 1.40
その他	35	35	0	9,190	9,300	110	89,439	89,293	△ 146	10,063	10,320	257	109.50	110.97	1.47
農学系	17	18	1	6,960	7,515	555	82,167	85,235	3,068	7,789	8,491	702	111.91	112.99	1.08
農学部	6	7	1	2,460	2,895	435	42,225	45,987	3,762	2,756	3,215	459	112.03	111.05	△ 0.98
獣医学部	3	3	0	740	740	0	11,567	10,269	△ 1,298	861	853	△ 8	116.35	115.27	△ 1.08
その他	8	8	0	3,760	3,880	120	28,375	28,979	604	4,172	4,423	251	110.96	113.99	3.03
人文科学系	237	236	△ 1	70,057	69,407	△ 650	510,840	512,590	1,750	73,132	72,905	△ 227	104.39	105.04	0.65
文学部	87	86	△ 1	35,137	34,703	△ 434	281,937	283,368	1,431	37,644	37,536	△ 108	107.13	108.16	1.03
人文学部	31	31	0	7,385	7,230	△ 155	36,331	34,526	△ 1,805	7,094	7,041	△ 53	96.06	97.39	1.33
外国語学部	28	28	0	9,886	9,866	△ 20	78,682	83,488	4,806	10,615	10,552	△ 63	107.37	106.95	△ 0.42
心理学部	14	14	0	2,065	2,165	100	15,337	14,924	△ 413	2,109	2,199	90	102.13	101.57	△ 0.56
人間学部	13	13	0	2,920	2,970	50	10,536	8,990	△ 1,546	2,820	2,808	△ 12	96.58	94.55	△ 2.03
国際文化学部	8	9	1	1,704	1,664	△ 40	12,807	9,120	△ 3,687	1,599	1,442	△ 157	93.84	86.66	△ 7.18
神学部	6	6	0	183	183	0	935	945	10	177	181	4	96.72	98.91	2.19
仏教学部	5	5	0	485	485	0	1,574	1,635	61	475	523	48	97.94	107.84	9.90
人間関係学部	5	5	0	1,070	1,070	0	3,334	2,912	△ 422	1,092	965	△ 127	102.06	90.19	△ 11.87
現代文化学部	4	4	0	720	680	△ 40	1,443	1,547	104	629	707	78	87.36	103.97	16.61
グローバル・コミュニケーション学部	3	4	1	610	760	150	3,147	3,659	512	572	710	138	93.77	93.42	△ 0.35
文芸学部	3	3	0	1,180	1,180	0	13,293	18,320	5,027	1,312	1,418	106	111.19	120.17	8.98
その他	30	28	△ 2	6,712	6,451	△ 261	51,484	49,156	△ 2,328	6,994	6,823	△ 171	104.20	105.77	1.57
社会科学系	506	510	4	165,717	165,444	△ 273	1,147,300	1,183,048	35,748	168,757	173,589	4,832	101.83	104.92	3.09
経済学部	94	94	0	40,343	39,868	△ 475	301,231	312,763	11,532	41,104	42,264	1,160	101.89	106.01	4.12
法学部	82	81	△ 1	31,476	31,176	△ 300	228,674	235,423	6,749	33,095	33,650	555	105.14	107.94	2.80
経営学部	82	81	△ 1	25,083	24,708	△ 375	188,841	193,204	4,363	25,498	25,687	189	101.65	103.96	2.31
商学部	31	31	0	14,606	14,656	50	107,856	110,305	2,449	15,109	15,427	318	103.44	105.26	1.82
社会福祉学部	23	23	0	5,069	4,809	△ 260	12,603	12,221	△ 382	4,644	4,446	△ 198	91.62	92.45	0.83
社会学部	20	21	1	7,269	7,649	380	70,406	73,227	2,821	7,642	8,079	437	105.13	105.62	0.49
経営情報学部	13	13	0	2,740	2,672	△ 68	5,117	5,727	610	2,175	2,341	166	79.38	87.61	8.23
人間社会学部	12	13	1	2,945	3,175	230	12,777	12,442	△ 335	2,778	3,138	360	94.33	98.83	4.50
総合政策学部	12	11	△ 1	3,157	2,807	△ 350	22,099	22,148	49	2,886	2,844	△ 42	91.42	101.32	9.90

看護系大学の入学状況(東北地方/全国)

・平成22年度から平成26年度にかけて、全国の18歳人口が約122万人から約118万人と0.91倍となる中で、全国の看護系大学は193校から234校に、入学定員は15,504人から19,674人と1.27倍に、受験者は79,165から116,275人へと1.47倍に増えている。

・福島県においては、看護系大学が1校のみであり、18歳人口千人当たりの入学定員は、平成26年現在で4.0人であり、東北地方の中でも最も低い整備水準にとどまっている。

・看護系大学の整備水準が高くなるほど受験者数が多くなる傾向があり、平成26年度の状況を見ると、青森県は、18歳人口千人当たり入学定員が27.2人で、18歳人口に対する受験者数は7.8%であり、秋田県は、18歳人口千人当たり入学定員が22.0人で、18歳人口に対する受験者数は7.0%となっている。一方、整備水準が低いほど受験者数が少ない傾向があり、福島県は、上述の通り18歳人口千人当たり入学定員が4.0人で、18歳人口に対する受験者数は1.4%であるが、東北地方及び全国の状況は、看護系大学の整備が進めば、新たな入学需要が顕在化することを示している。

【参考】

■平成22年度

県	学校数(力所)	入学定員(人) a	受験者数(人) b	入学者数(人) c	競争率(倍) b/c	充足率(%) c/a	18歳人口(人) d	18歳人口千人当たり入学定員(人) a/d×1,000	18歳人口に対する受験者数(%) b/d
青森	4	280	846	319	2.7	113.9	15,237	18.4	5.6%
岩手	1	90	432	91	4.7	101.1	14,576	6.2	3.0%
宮城	4	310	1,164	328	3.5	105.8	23,481	13.2	5.0%
秋田	3	220	737	239	3.1	108.6	10,987	20.0	6.7%
山形	2	110	252	114	2.2	103.6	12,689	8.7	2.0%
福島	1	80	273	86	3.2	107.5	23,127	3.5	1.2%
東北地方計	15	1,090	3,704	1,177	3.1	108.0	100,097	10.9	3.7%
全国	193	15,504	79,165	17,085	4.6	110.2	1,215,843	12.8	6.5%

	H19.3 中卒者	H19.3 中学校前期修了者
青森	15,237	—
岩手	14,576	—
宮城	23,416	65
秋田	10,987	—
山形	12,689	—
福島	23,127	—
東北地方計	100,032	65
全国	1,213,709	2,134

■平成23年度

県	学校数(力所)	入学定員(人) a	受験者数(人) b	入学者数(人) c	競争率(倍) b/c	充足率(%) c/a	18歳人口(人) d	18歳人口千人当たり入学定員(人) a/d×1,000	18歳人口に対する受験者数(%) b/d
青森	4	280	972	296	3.3	105.7	14,707	19.0	6.6%
岩手	1	90	448	88	5.1	97.8	13,970	6.4	3.2%
宮城	4	310	1,503	340	4.4	109.7	23,038	13.5	6.5%
秋田	3	220	610	239	2.6	108.6	10,860	20.3	5.6%
山形	2	110	220	115	1.9	104.5	12,094	9.1	1.8%
福島	1	80	171	82	2.1	102.5	22,333	3.6	0.8%
東北地方計	15	1,090	3,924	1,160	3.4	106.4	97,002	11.2	4.0%
全国	199	16,059	89,806	17,457	5.1	108.7	1,201,934	13.4	7.5%

	H20.3 中卒者	H20.3 中学校前期修了者
青森	14,707	—
岩手	13,970	—
宮城	22,969	69
秋田	10,860	—
山形	12,094	—
福島	22,333	—
東北地方計	96,933	69
全国	1,199,309	2,625

■平成24年度

県	学校数(力所)	入学定員(人) a	受験者数(人) b	入学者数(人) c	競争率(倍) b/c	充足率(%) c/a	18歳人口(人) d	18歳人口千人当たり入学定員(人) a/d×1,000	18歳人口に対する受験者数(%) b/d
青森	4	300	815	310	2.6	103.3	14,576	20.6	5.6%
岩手	1	90	344	89	3.9	98.9	13,678	6.6	2.5%
宮城	4	310	1,398	333	4.2	107.4	22,092	14.0	6.3%
秋田	3	220	694	243	2.9	110.5	10,437	21.1	6.6%
山形	2	110	337	112	3.0	101.8	11,841	9.3	2.8%
福島	1	84	296	84	3.5	100.0	21,807	3.9	1.4%
東北地方計	15	1,114	3,884	1,171	3.3	105.1	94,431	11.8	4.1%
全国	208	16,975	98,054	18,569	5.3	109.4	1,191,210	14.3	8.2%

	H21.3 中卒者	H21.3 中学校前期修了者
青森	14,576	—
岩手	13,678	—
宮城	22,000	92
秋田	10,437	—
山形	11,841	—
福島	21,807	—
東北地方計	94,339	92
全国	1,188,032	3,178

■平成25年度

県	学校数(力所)	入学定員(人) a	受験者数(人) b	入学者数(人) c	競争率(倍) b/c	充足率(%) c/a	18歳人口(人) d	18歳人口千人当たり入学定員(人) a/d×1,000	18歳人口に対する受験者数(%) b/d
青森	4	300	913	336	2.7	112.0	14,722	20.4	6.2%
岩手	1	90	284	93	3.1	103.3	13,748	6.5	2.1%
宮城	4	310	1,580	334	4.7	107.7	22,797	13.6	6.9%
秋田	3	220	701	242	2.9	110.0	10,866	20.2	6.5%
山形	2	113	254	116	2.2	102.7	12,064	9.4	2.1%
福島	1	84	338	84	4.0	100.0	21,930	3.8	1.5%
東北地方計	15	1,117	4,070	1,205	3.4	107.9	96,127	11.6	4.2%
全国	217	17,878	108,708	19,376	5.6	108.4	1,231,117	14.5	8.8%

	H22.3 中卒者	H22.3 中学校前期修了者
青森	14,722	—
岩手	13,748	—
宮城	22,732	65
秋田	10,866	—
山形	12,064	—
福島	21,930	—
東北地方計	96,062	65
全国	1,227,736	3,381

■平成26年度

県	学校数(力所)	入学定員(人) a	受験者数(人) b	入学者数(人) c	競争率(倍) b/c	充足率(%) c/a	18歳人口(人) d	18歳人口千人当たり入学定員(人) a/d×1,000	18歳人口に対する受験者数(%) b/d
青森	5	380	1,086	407	2.7	107.1	13,957	27.2	7.8%
岩手	1	90	276	93	3.0	103.3	12,885	7.0	2.1%
宮城	4	310	1,429	321	4.5	103.5	22,003	14.1	6.5%
秋田	3	220	706	243	2.9	110.5	10,021	22.0	7.0%
山形	2	113	296	115	2.6	101.8	11,343	10.0	2.6%
福島	1	84	301	84	3.6	100.0	20,887	4.0	1.4%
東北地方計	16	1,197	4,094	1,263	3.2	105.5	91,096	13.1	4.5%
全国	234	19,674	116,275	21,223	5.5	107.9	1,180,838	16.7	9.8%

	H23.3 中卒者	H23.3 中学校前期修了者
青森	13,957	—
岩手	12,885	—
宮城	21,943	60
秋田	10,021	—
山形	11,343	—
福島	20,887	—
東北地方計	91,036	60
全国	1,176,923	3,915

■伸び率(平成22年度～26年度)

県	学校数(倍)	入学定員(倍)	受験者数(倍)	入学者数(倍)	競争率(倍)	充足率(%)	18歳人口(倍)	18歳人口千人当たり入学定員(倍)
青森	1.25	1.36	1.28	1.28	2.7	112.0	0.92	1.48
岩手	1.00	1.00	0.64	1.02	3.1	103.3	0.88	1.13
宮城	1.00	1.00	1.23	0.98	4.2	107.4	0.94	1.07
秋田	1.00	1.00	0.96	1.02	2.9	110.5	0.91	1.10
山形	1.00	1.03	1.17	1.01	3.0	101.8	0.89	1.15
福島	1.00	1.05	1.10	0.98	3.5	100.0	0.90	1.16
東北地方計	1.07	1.10	1.11	1.07	3.3	105.1	0.91	1.21
全国	1.21	1.27	1.47	1.24	5.3	109.4	0.97	1.31

(注)

・18歳人口は、3年前の中学校(中等教育学校前期課程修了者含む)卒業者

(資料)

・「看護関係統計資料集」平成22～26年 日本看護協会出版会

・「学校基本調査」平成19～23年 文部科学省

いわき明星大学「看護学部」(仮称)
設置に関するアンケート調査
【高校生対象調査】
結果報告書

平成28年3月
株式会社 進研アド

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2017年4月開設予定の「いわき明星大学 看護学部」の新設構想に関して、高校生のニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		福島県、茨城県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校)	3,595 (27校)
	回収数 (回収率)	2,738 (26校) (76.2%)
調査時期		2016年1月18日(月)～2016年2月5日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・興味のある学問系統 ・「看護学部」の特色に対する魅力度 ・「看護学部」への受験意向 ・「看護学部」への入学意向 ・「入学したいと思う」理由／「入学したいと思わない」理由 ・現在進学を考えている学問系統、大学名、学部名

高校生対象 調査結果まとめ



高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※ 本調査は、いわき明星大学の新学部である「看護学部」に対する需要を確認する目的の調査として設計したため、いわき明星大学の主な学生募集エリアである福島県、茨城県に所在する高校の高校2年生(設置年度に入学対象の学年)に調査を実施し、2,738人から回答を得た。

- 回答者の性別は、「男性」が44.6%、「女性」が54.7%。
- 回答者の在籍高校種別は、「公立」が79.4%、「私立」が20.6%。
- 回答者の在籍高校所在地は、「福島県」が96.7%、「茨城県」が3.3%。
- 理系クラス所属者に優先して調査実施を依頼したため、回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」(37.4%)が最も高い。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」が31.6%で最も高い。次いで、「専門学校・専修学校に進学」が30.0%、「私立大学に進学」が29.1%。
- 回答者の興味のある学問系統は、新学部と関連のある「看護・保健学」(19.4%)が最も高い。

高校生対象 調査結果まとめ

「看護学部」の特色に対する魅力度

- 「看護学部」の特色に対する魅力度(※)は、3項目全てにおいて6割を超える。
- 中でも、「最新の機材・設備がある環境で学ぶことができ、コンピュータ・シミュレーションをはじめ、最新の医療現場に即戦力として対応できる力が身につきます。」に対する魅力度は71.9%で、特色3項目中最も高い。
- 次いで、「教養学部、薬学部との連携により、新しい時代に向けた教養教育、医療心理・福祉系専門教育、医療基礎教育が受けられます。」(69.8%)が高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

「看護学部」への受験意向・入学意向

- 「看護学部」を「受験したいと思う」と答えた人は17.0% (466人)である。
- 「看護学部」を「受験したいと思う」と答えた466人のうち、「入学したいと思う」と答えた人は90.8% (423人)で、予定されている入学定員(80人)の5倍以上である。

高校生対象 調査結果まとめ

受験意向別入学意向 属性別傾向

◇性別

- 「看護学部」を「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた人（以降下線部を本頁内では「入学意向者」と表す）は「男性」10.9%（133人）より「女性」19.0%（285人）の方が8.1ポイント高い。

◇高校所在地別

- 学生募集の中心である「福島県」の高校在籍者からの入学意向者は15.4%（407人）と、予定入学定員（80人）の5倍以上である。

◇在籍コース別

- 「理系クラス（理系コース）」在籍者からの入学意向者は16.6%（170人）と、予定入学定員（80人）の2倍以上である。

◇希望進路別

- いわき明星大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」希望者からの入学意向者は16.2%（129人）で、予定されている入学定員（80人）を上回る。

◇興味学問系統別

- 看護学部と関連のある「看護・保健学」関心者からの入学意向者は40.4%（214人）で、予定入学定員（80人）の2倍以上である。

高校生対象 調査結果まとめ

「入学したいと思う」理由

- 「看護学部」に「入学したいと思う」と答えた423人に「入学したいと思う」理由を聴取したところ、「看護学部の教育内容が良いと思ったから」が最も高く44.2%。
- 次いで、「自分の学びたいことと看護学部の内容が合っているから」が36.4%、「自宅に近い大学だから」が27.2%で続く。

「入学したいと思わない」理由

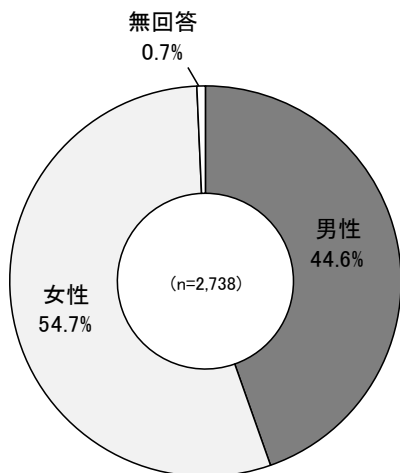
- 「看護学部」に「入学したいと思わない」と答えた2,234人にその理由を聴取したところ、「自分の学びたいことと看護学部の内容が合っていないから」が61.8%と最も高い。
- 次いで、「いわき明星大学の入試難易度が自分に合っていないから」が10.7%で続く。

高校生対象 調査結果

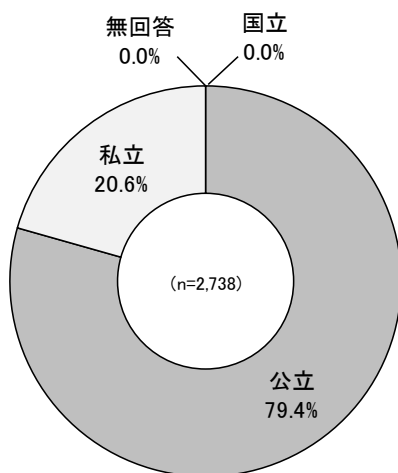
A horizontal blue bar with a gradient from dark blue on the left to light blue on the right, positioned below the title.

回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

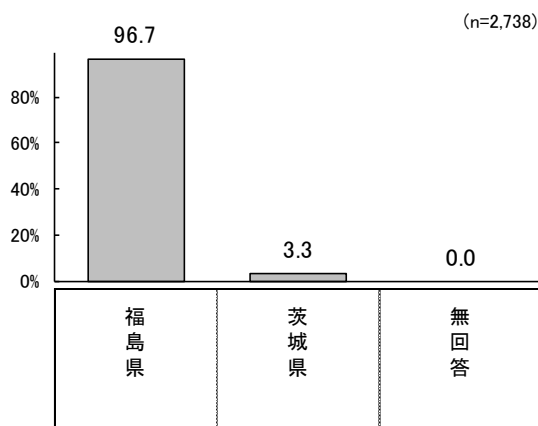
■性別



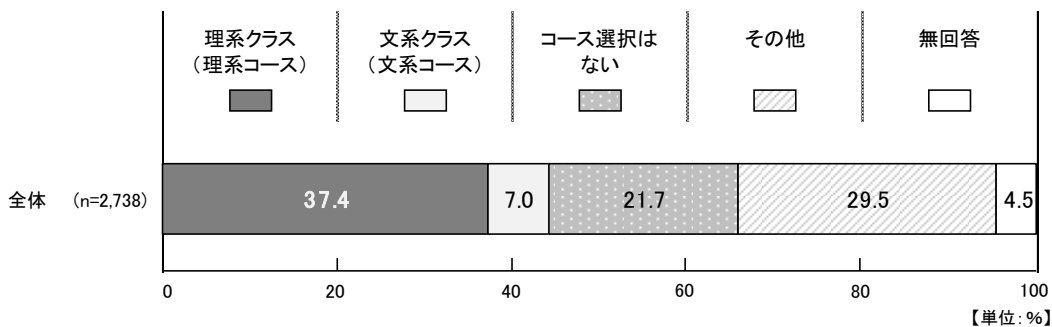
■高校種別



■高校所在地



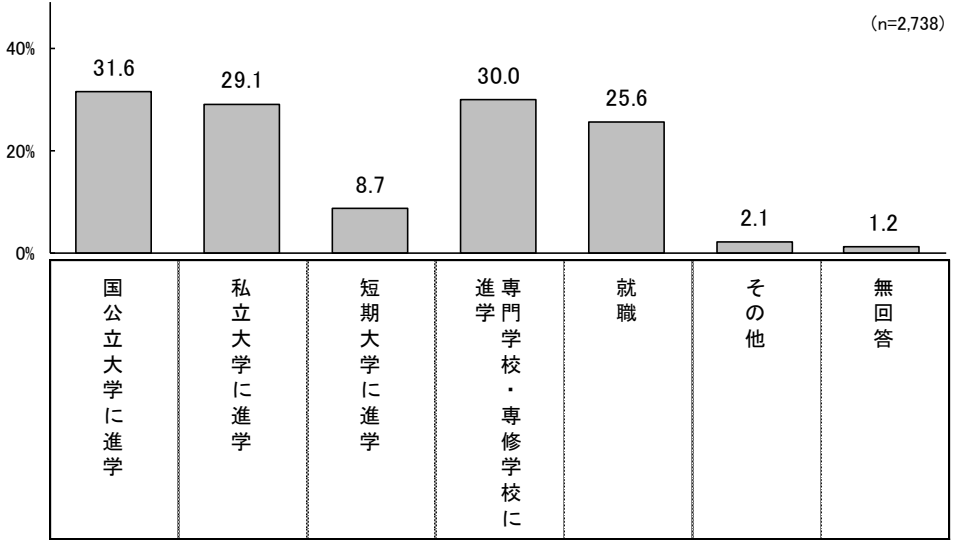
■所属クラス



高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

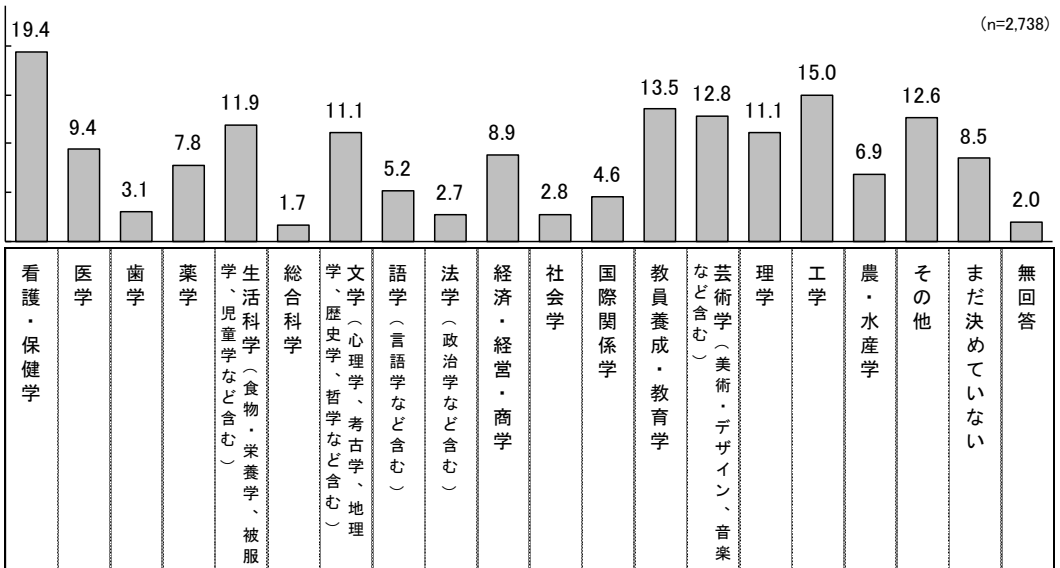
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも)



■興味のある学問系統

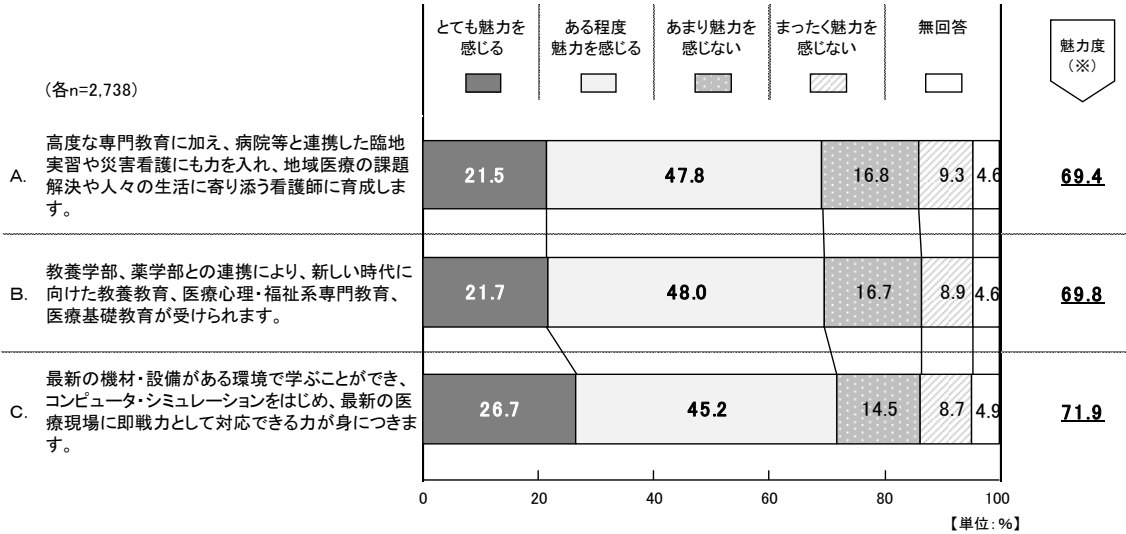
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統すべてをお選びください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



「看護学部」の特色に対する魅力度

■「看護学部」の特色に対する魅力度

Q3. いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまるものを1つだけ)



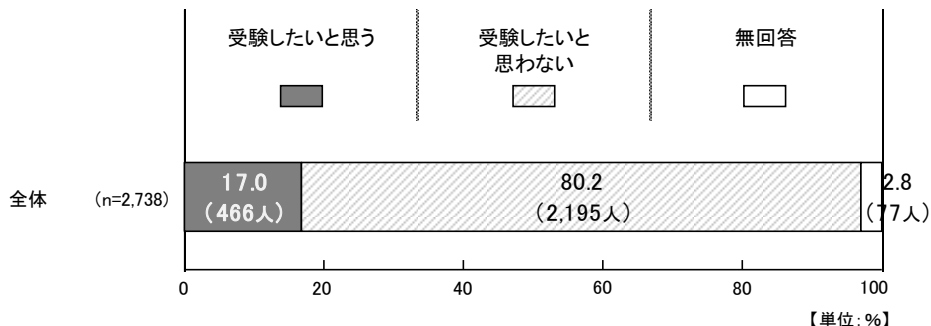
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに％を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「看護学部」への受験意向／入学意向

■「看護学部」への受験意向

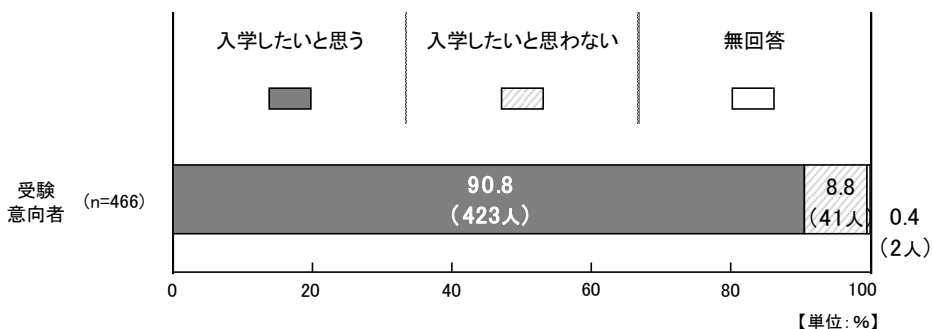
Q4. あなたは、いわき明星大学「看護学部」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近いもの1つをお選びください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた466人のみ抽出

■「看護学部」への入学意向

Q5. あなたはいわき明星大学「看護学部」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近いもの1つをお選びください。（1つだけ）

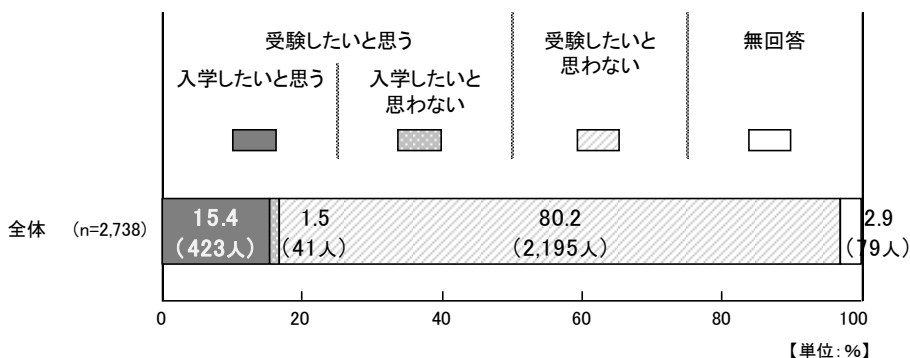


※ Q4で「受験したいと思う」と答えた466人の回答



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

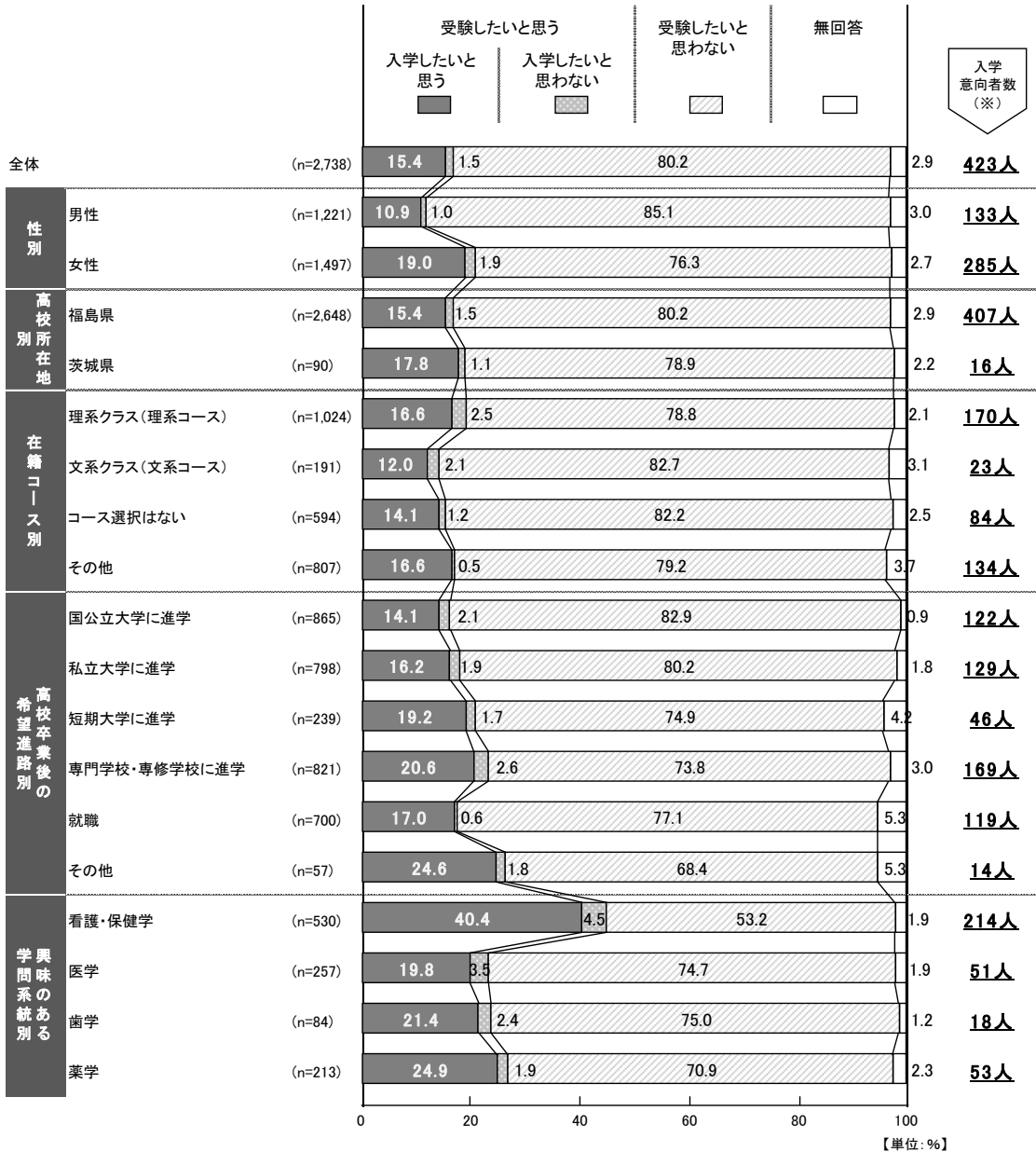
■「看護学部」への受験意向別入学意向



<属性別>

■「看護学部」への受験意向別入学意向

<属性別>

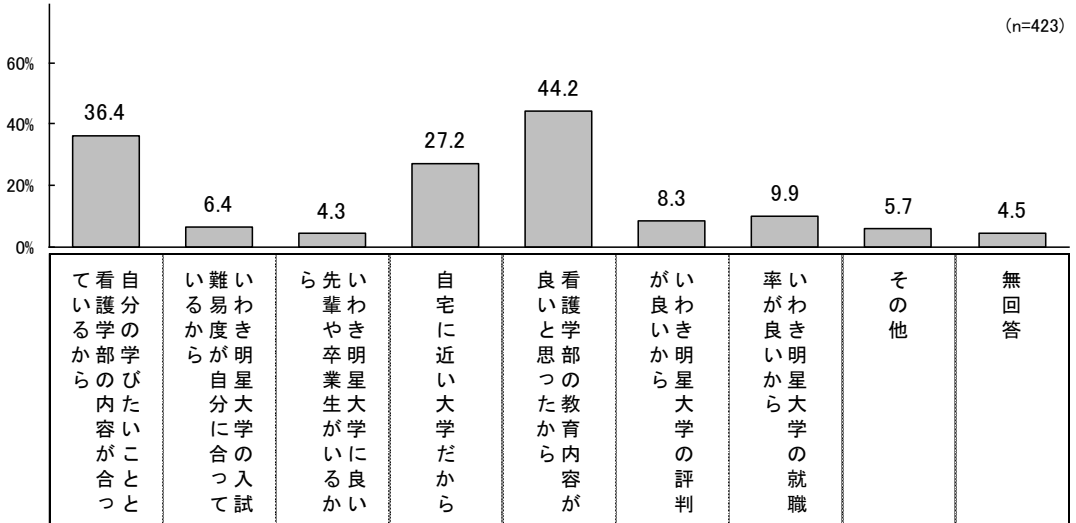


※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

「入学したいと思う」理由／「入学したいと思わない」理由

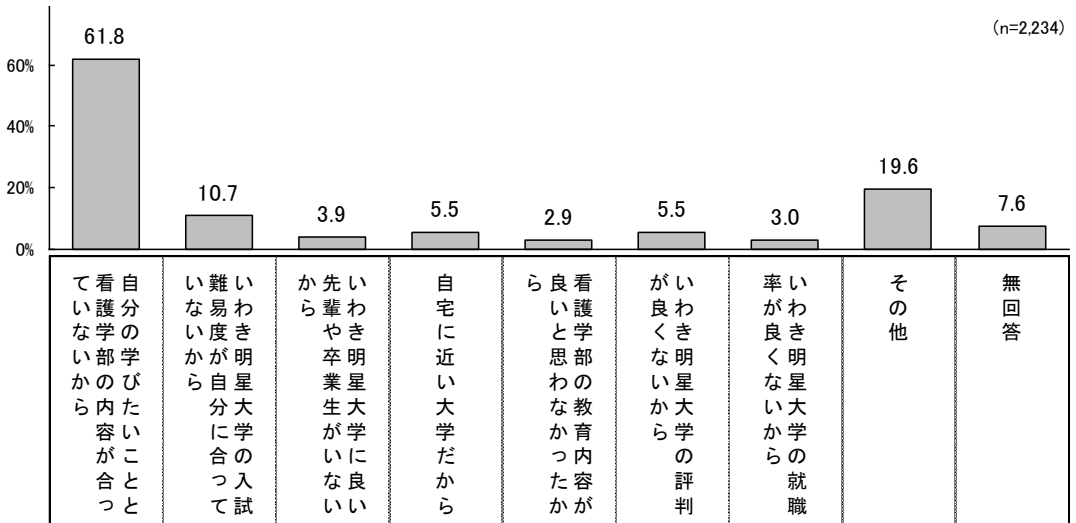
■「入学したいと思う」理由

Q6. Q5で「入学したいと思う」とお答えした方にうかがいます。
 そう思う理由すべてをお選びください。(いくつでも)



■「入学したいと思わない」理由

Q7. Q5で「入学したいと思わない」とお答えした方にうかがいます。
 そう思う理由すべてをお選びください。(いくつでも)



卷末資料 調查票



高校生対象 調査票

15035

No.

いわき明星大学 看護学部（仮称、設置構想中）に関するアンケート

いわき明星大学では2017年(平成29年)4月より、「看護学部」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、いわき明星大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「看護学部」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✓をつけてください。
 2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
 3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
 4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
 5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
- 【記入例】
 Q.あなたは、どのような学部に興味がありますか。(いくつでも)
 良い記入例 文学 法学 社会学 語学 国際関係
- 悪い記入例 文学 法学 社会学 語学 国際関係

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つだけ)	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	学年 (1つだけ)	<input type="checkbox"/> 1年生 <input type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [] <input type="checkbox"/> 都 <input type="checkbox"/> 道 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 県 (←1つだけ)		
	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 (←1つだけ) [] 高等学校		
所属クラス (1つだけ)	<input type="checkbox"/> 理系クラス (理系コース)		<input type="checkbox"/> コース選択はない
	<input type="checkbox"/> 文系クラス (文系コース)		<input type="checkbox"/> その他

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
 以下の項目から、あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも)

- 国公立大学に進学 短期大学に進学 就職
 私立大学に進学 専門学校・専修学校に進学 その他

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
 以下の項目から、興味のある学問系統すべてをお選びください。(いくつでも)
 (現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 看護・保健学 | <input type="checkbox"/> 文学
(心理学、考古学、地理学、
歴史学、哲学など含む) | <input type="checkbox"/> 教員養成・教育学 |
| <input type="checkbox"/> 医学 | <input type="checkbox"/> 言語学(言語学など含む) | <input type="checkbox"/> 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む) |
| <input type="checkbox"/> 歯学 | <input type="checkbox"/> 法学(政治学など含む) | <input type="checkbox"/> 理学 |
| <input type="checkbox"/> 薬学 | <input type="checkbox"/> 経済・経営・商学 | <input type="checkbox"/> 工学 |
| <input type="checkbox"/> 生活科学
(食物・栄養学、被服学、
児童学など含む) | <input type="checkbox"/> 社会学 | <input type="checkbox"/> 農・水産学 |
| <input type="checkbox"/> 総合科学 | <input type="checkbox"/> 国際関係学 | <input type="checkbox"/> その他 |
| | | <input type="checkbox"/> まだ決めていない |

高校生対象 調査票

15036

◆いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)についてお聞きします。

いわき明星大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2017年(平成29年)4月に、新しく「看護学部」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3. いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまるものを1つだけ)

例.		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	〇〇が身につきます。	→ <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A.	高度な専門教育に加え、病院等と連携した臨地実習や災害看護にも力を入れ、地域医療の課題解決や人々の生活に寄り添う看護師に育成します。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	教養学部、薬学部との連携により、新しい時代に向けた教養教育、医療心理・福祉系専門教育、医療基礎教育が受けられます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	最新の機材・設備がある環境で学ぶことができ、コンピュータ・シミュレーションをはじめ、最新の医療現場に即戦力として対応できる力が身につきます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q4. あなたは、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに一番近いもの1つをお選びください。(1つだけ)

受験したいと思う 受験したいと思わない

Q5. あなたはいわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近いもの1つをお選びください。(1つだけ)

入学したいと思う 入学したいと思わない

Q6. Q5で「入学したいと思う」とお答えした方にうかがいます。そう思う理由すべてをお選びください。(いくつでも)

自分の学びたいことと看護学部の内容が合っているから 看護学部の教育内容が良いと思ったから
 いわき明星大学の入試難易度が自分に合っているから いわき明星大学の評判が良いから
 いわき明星大学に良い先輩や卒業生がいるから いわき明星大学の就職率が良いから
 自宅に近い大学だから その他(具体的に:)

Q7. Q5で「入学したいと思わない」とお答えした方にうかがいます。そう思う理由すべてをお選びください。(いくつでも)

自分の学びたいことと看護学部の内容が合っていないから 看護学部の教育内容が良いと思わなかったから
 いわき明星大学の入試難易度が自分に合っていないから いわき明星大学の評判が良くないから
 いわき明星大学に良い先輩や卒業生がいないから いわき明星大学の就職率が良くないから
 自宅に近い大学だから その他(具体的に:)

Q8. Q5で「入学したいと思わない」とお答えした方にうかがいます。現在進学を考えている学問系統、大学名や学部名をご記入ください。 []

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

いわき明星大学「看護学部」入学者確保の中長期的な見込み

	平成29年度 開設1年目	平成30年度 開設2年目	平成31年度 開設3年目	平成32年度 開設4年目	平成33年度 開設5年目	平成34年度 開設6年目	平成35年度 開設7年目	平成36年度 開設8年目	平成37年度 開設9年目	平成38年度 開設10年目
福島県18歳人口 (注1)	19,782	18,929	18,797	18,463	17,598	17,254	16,541	15,856	15,815	15,403 (人)
本学看護学部へ の入学意向者 (注2)	407	388	385	378	361	354	339	325	324	316 (人)
本学看護学部入 学定員(80人)に 対する倍率	5.09	4.85	4.82	4.73	4.51	4.42	4.24	4.06	4.05	3.95 (倍)

(注1)

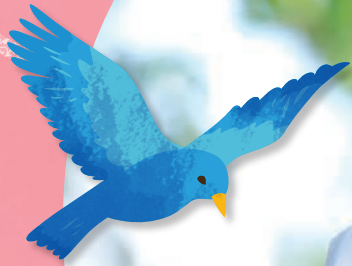
・リクルート進学総研「マーケットレポート」(2015年12月号)における「18歳人口予測」より。

(注2)

・本学が株式会社進研アドに委託して実施した「いわき明星大学「看護学部」(仮称)設置に関するアンケート調査」(平成28年3月)において、福島県所在の高校2年生(n=2,648)のうち、本学看護学部への入学意向を示した者は、407人(「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した者の人数)であり、これは、本学看護学部への対象人口となる平成28年度の福島県の18歳人口の2.05%にあたる(407人/19,782人*100=2.05%)。

・平成30年度以降も、本県の18歳人口の2.05%が本学看護学部への強い入学意向を示すとの合理的予測のもとに、各年度の本学看護学部への入学意向者を算出した。なお、別添「看護系大学の入学状況(東北地方/全国)」において示したように、18歳人口に占める看護系大学の受験者は、平成26年度、東北地方では4.5%、全国では9.8%であることからすると、この2.05%という値はむしろ控え目であるといえる。

・本学看護学部開設10年目まで、入学定員80人に対して、県内からだけでなく5.09倍から3.95倍の入学意向者が確保できるとの見通しである。実際には、他県からの入学意向者も見込まれ、本学看護学部は中長期的に学生を確保することができる。



地域の医療に
貢献したい。



2017年4月、いわき明星大学に 看護学部(仮称)※が誕生します。

新設する看護学部は、既存の教養学部、薬学部と連携し、
地域で活躍する看護師の養成をめざします。

看護学部(仮称)※ 看護学科[4年制] 入学定員/80人

看護学部の特色

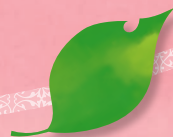
教養学部、
薬学部
との連携

看護師国家試験
100%合格を
めざした教育体制

経験豊かな
教員による
きめ細やかな教育

最新の医療現場に
対応した設備

地域との
連携



2017年4月、いわき明星大学に看護学部(仮称)※が誕生します。

WHY?

なぜ看護学部看護学科をつくるの？

東日本大震災の発生以降、福島県、とりわけ浜通り地方では、医師や看護師などの人材が流出し、看護師を含む医療人の養成が大きな課題となっています。また、高齢化社会の到来による在宅医療の進展、医療の高度化・専門化、看護ニーズの多様化が進む中、医療チームの一員として活動できる質の高い看護師が求められています。

WHO?

どんな人材を育てるの？

地域医療の課題解決や人々の生活に寄り添う

地域基盤型看護師

高度な
専門知識・技能

豊富な
教養・研究心

コミュニ
ケーション力

WHAT? どんな特色があるの？

経験豊かな教員組織と 看護師国家試験100%合格をめざした 教育体制

看護教育の専門分野において、経験豊かな教員によるきめ細やかな教育を行います。

初年次からの基礎教育をベースに、高度な専門教育、地域の病院等と連携した臨床実習を行い、看護師として必要な知識・技能を身につけた上で、国家試験合格率100%をめざした教育体制を整えます。

A

教養学部、薬学部との連携

既存の教養学部、薬学部と連携し、新しい時代に向けた教養教育、医療心理・福祉系専門教育、医療基礎教育等を実施します。また、既存2学部での初年次教育やキャリア教育、薬学部での国家試験合格に向けた教育手法を生かした教育を展開します。

B

最新の機材・設備

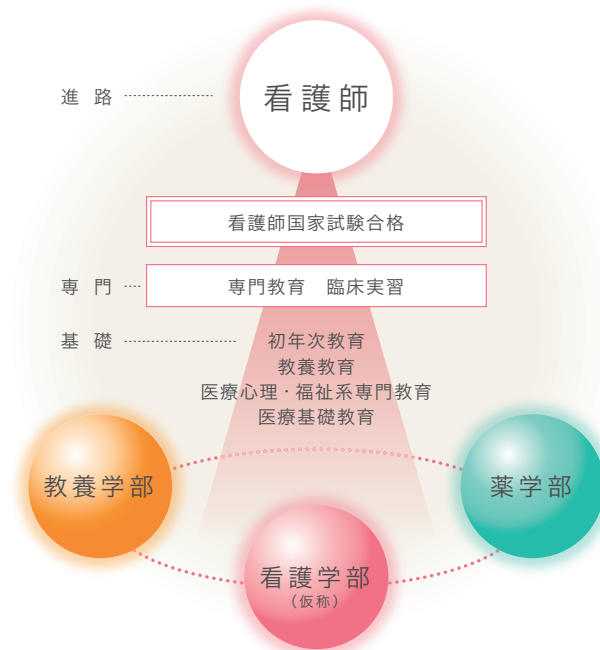
最新の医療現場に即戦力として対応できるように、コンピュータ・シミュレーションをはじめとする最新の機材を用意します。また、医療現場を支えるICT教育にも力を入れます。

C

初年度納入金(入学金含む):180万円(予定)

特待生・スカラシップ制度

いわき明星大学奨学金などの本学独自の奨学金制度のほか、特待生入試・スカラシップ入試の導入などにより、経済面からの充実したサポートを計画しています。



いわき明星大学人文学部・教養学部入学者の福島県内外出身状況

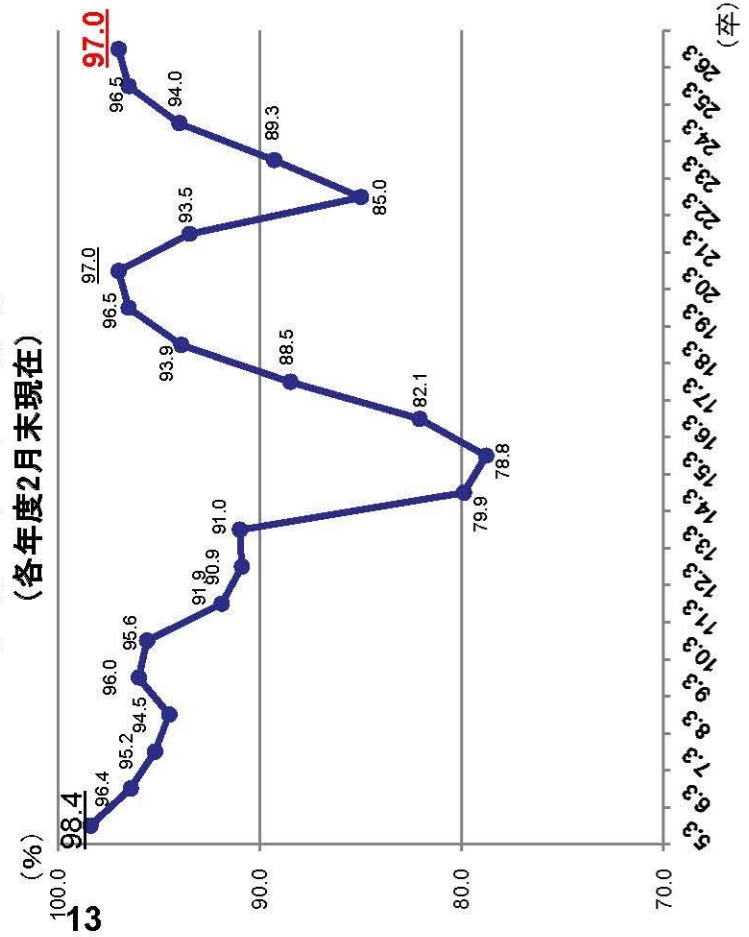
	人文学部												教養学部	
	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		入学者数	比率
	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率		
学部入学者総数	243	100.0%	229	100.0%	139	100.0%	132	100.0%	111	100.0%	89	100.0%		
福島県内出身者	154	63.4%	153	66.8%	103	74.1%	94	71.2%	82	73.9%	70	78.7%		
いわき市	87	35.8%	75	32.8%	63	45.3%	59	44.7%	54	48.6%	56	62.9%		
相双	9	3.7%	18	7.9%	8	5.8%	7	5.3%	5	4.5%	5	5.6%		
県北	9	3.7%	18	7.9%	3	2.2%	6	4.5%	7	6.3%	2	2.2%		
県南	32	13.2%	35	15.3%	21	15.1%	18	13.6%	13	11.7%	6	6.7%		
会津	17	7.0%	7	3.1%	8	5.8%	4	3.0%	3	2.7%	1	1.1%		
茨城県	19	7.8%	17	7.4%	14	10.1%	14	10.6%	8	7.2%	9	10.1%		
宮城県	10	4.1%	11	4.8%	5	3.6%	3	2.3%	4	3.6%	2	2.2%		
山形県	16	6.6%	16	7.0%	8	5.8%	7	5.3%	4	3.6%	0	0.0%		
その他道府県	44	18.1%	32	14.0%	9	6.5%	14	10.6%	13	11.7%	8	9.0%		

【別表2】 新規高卒者の雇用状況（平成26年2月末現在）

- 就職内定率97.0%（前年同期比0.5P増）【※21年ぶりの高水準】
- 就職先として「県内」が増加（県内就職内定者の割合77.1%）【※13年ぶりの高水準】
- 求人との早期提出勧奨や求人開拓等により、県内求人は7,667人と前年同期比20.2%増加。

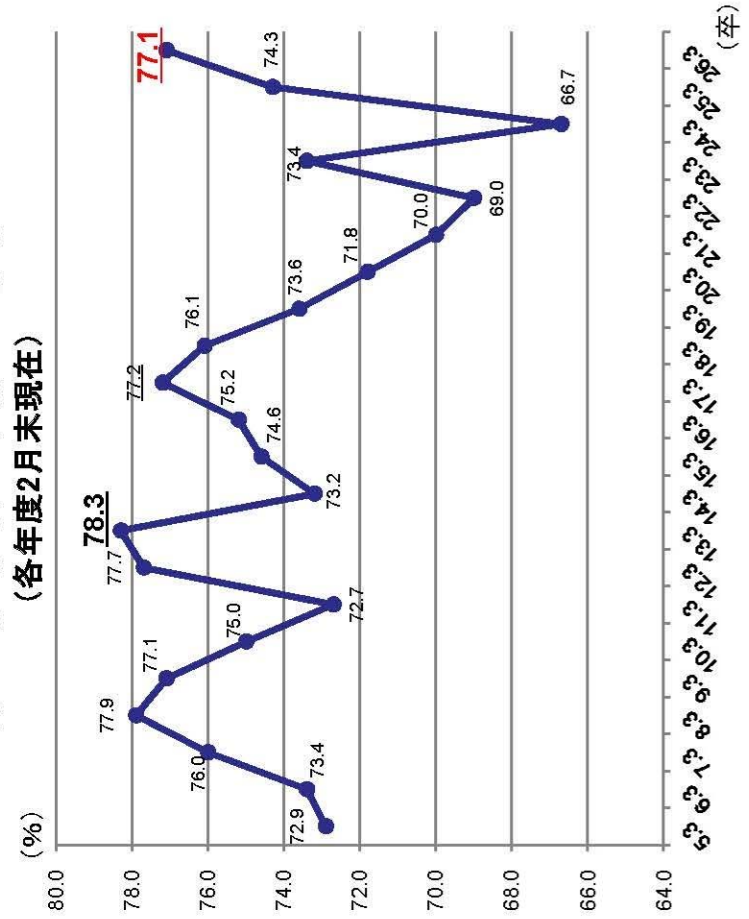
① 就職内定率は **97.0%**
～ 21年ぶりの高水準 ～

就職内定率の推移



② 就職先として「県内」が増加
～ 13年ぶりの高水準 ～

県内就職者の割合の推移



いわき明星大学 薬学部入学者の福島県内外出身状況

教務学生支援センター(入試広報担当)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率
入学者総数	78	100.0%	52	100.0%	58	100.0%	60	100.0%	83	100.0%	97	100.0%	79	100.0%
福島県内出身者	42	53.8%	27	51.9%	40	69.0%	37	61.7%	49	59.0%	62	63.9%	35	44.3%
いわき市	33	42.3%	19	36.5%	32	55.2%	28	46.7%	37	44.6%	50	51.5%	30	38.0%
相双	2	2.6%	2	3.8%	1	1.7%	2	3.3%	2	2.4%	6	6.2%	2	2.5%
県北	2	2.6%	4	7.7%	1	1.7%	3	5.0%	5	6.0%	0	0.0%	1	1.3%
県南	3	3.8%	2	3.8%	6	10.3%	4	6.7%	4	4.8%	4	4.1%	1	1.3%
会津	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	2	2.1%	1	1.3%
茨城県	7	9.0%	9	17.3%	8	13.8%	9	15.0%	11	13.3%	9	9.3%	9	11.4%
宮城県	7	9.0%	4	7.7%	4	6.9%	4	6.7%	5	6.0%	11	11.3%	13	16.5%
山形県	3	3.8%	4	7.7%	2	3.4%	0	0.0%	2	2.4%	2	2.1%	2	2.5%
その他道府県	19	24.4%	8	15.4%	4	6.9%	10	16.7%	16	19.3%	13	13.4%	20	25.3%

※平成28年3月31日14:00現在

18歳人口予測

大学・短大・専門学校進学率

地元残留率の動向

東北版



【将来予測 2015～2026年】

▶18歳人口予測 P2～P4

- ・2015年87458人→2026年71266人(16192人減少)。
- ・減少率が高いのは、青森県(2015年比74.5)、秋田県(76.1)、福島県(77.6)。

【経過推移 2005～2014年】

▶進学者数・進学率・残留率(現役)の推移 P5～P8

進学者数

- ・大学は、2005年32027人→2014年31846人(181人減少)と、ほぼ同水準で推移。
- ・短大は、2005年6823人→2014年4495人(2328人減少)と、34.1%減少。
- ・専門学校は、2005年21803人→2014年15131人(6672人減少)と、30.6%減少。

進学率

- ・大学は、2005年30.6%→2014年38.8%(8.2ポイント上昇)。
- ・短大は、2005年6.5%→2014年5.5%(1.0ポイント低下)。
- ・専門学校は、2005年20.8%→2014年18.4%(2.4ポイント低下)。

残留率

- ・大学は、2005年32.0%→2014年33.6%(1.6ポイント上昇)。
- ・短大は、2005年59.7%→2014年65.4%(5.7ポイント上昇)。

▶東北エリア概要(現役：県別) P9～10

※分析にあたって

- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・18歳人口=3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・中学校卒業生数=高校生+フリーター+就職者 すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。
- ④ 進学率とは、進学者数(大学・短大・専修学校専門課程)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内の進学者数(大学・短大)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑥ 図表で利用している百分率(%)は小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間が一致しない場合がある。

【本件に関するお問い合わせ先】

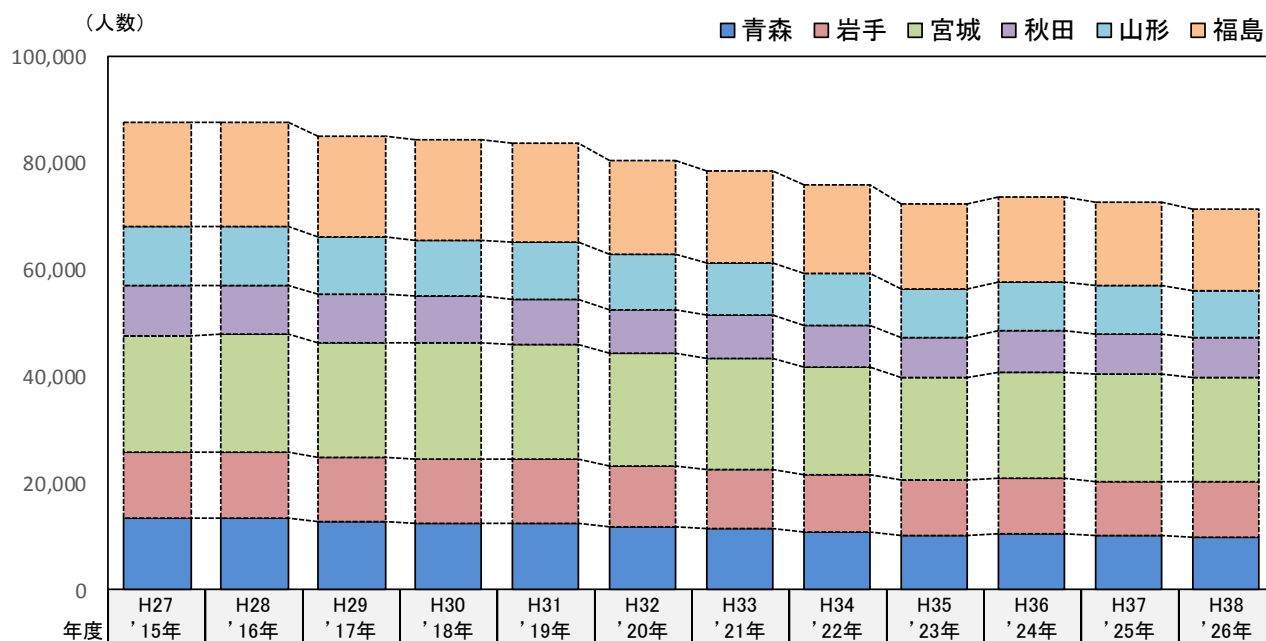
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研

<http://souken.shingakunet.com/>

18歳人口予測(全体：東北：2015～2026年)

■ 2015年87458人→2026年71266人(16192人減少)

- ・東北エリアは12年間で16192人・18.5%減少し、全国の減少率9.0%を大きく上回る。
- ・2023年に72272人まで減少した翌年に1300人ほど増加するが、そこから2026年にかけてさらに減少する見込み。
- ・減少率が高いのは、青森県(2015年比74.5)、秋田県(76.1)、福島県(77.6)。



	年度	(人数)											
		H27 '15年	H28 '16年	H29 '17年	H30 '18年	H31 '19年	H32 '20年	H33 '21年	H34 '22年	H35 '23年	H36 '24年	H37 '25年	H38 '26年
東北	人数	87,458	87,747	85,033	84,389	83,555	80,372	78,611	75,802	72,272	73,615	72,468	71,266
	割合	100.0	100.3	97.2	96.5	95.5	91.9	89.9	86.7	82.6	84.2	82.9	81.5
青森	人数	13,314	13,256	12,666	12,469	12,380	11,870	11,347	10,893	10,182	10,356	10,020	9,921
	割合	100.0	99.6	95.1	93.7	93.0	89.2	85.2	81.8	76.5	77.8	75.3	74.5
岩手	人数	12,377	12,530	12,083	12,084	11,924	11,396	11,264	10,776	10,205	10,477	10,248	10,131
	割合	100.0	101.2	97.6	97.6	96.3	92.1	91.0	87.1	82.5	84.6	82.8	81.9
宮城	人数	21,780	22,026	21,570	21,723	21,577	21,020	20,851	19,993	19,229	19,873	20,076	19,784
	割合	100.0	101.1	99.0	99.7	99.1	96.5	95.7	91.8	88.3	91.2	92.2	90.8
秋田	人数	9,583	9,303	9,101	8,695	8,597	8,194	8,030	7,879	7,580	7,679	7,417	7,297
	割合	100.0	97.1	95.0	90.7	89.7	85.5	83.8	82.2	79.1	80.1	77.4	76.1
山形	人数	10,977	10,850	10,684	10,621	10,614	10,294	9,865	9,720	9,220	9,415	9,304	9,050
	割合	100.0	98.8	97.3	96.8	96.7	93.8	89.9	88.5	84.0	85.8	84.8	82.4
福島	人数	19,427	19,782	18,929	18,797	18,463	17,598	17,254	16,541	15,856	15,815	15,403	15,083
	割合	100.0	101.8	97.4	96.8	95.0	90.6	88.8	85.1	81.6	81.4	79.3	77.6

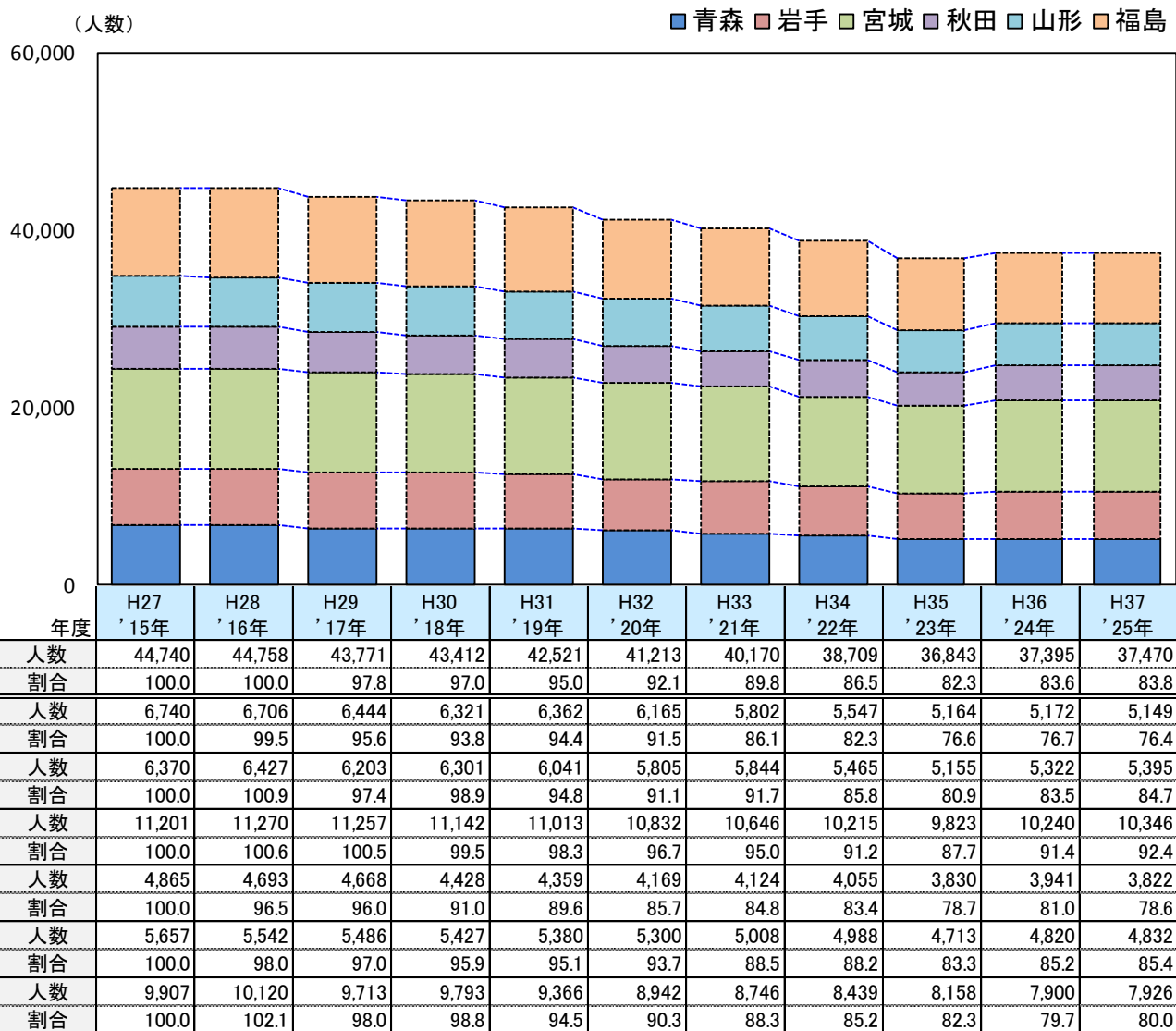
全国	年度	(人数)											
		H27 '15年	H28 '16年	H29 '17年	H30 '18年	H31 '19年	H32 '20年	H33 '21年	H34 '22年	H35 '23年	H36 '24年	H37 '25年	H38 '26年
全国	人数	1,190,262	1,198,290	1,179,810	1,175,152	1,166,874	1,139,843	1,122,017	1,097,275	1,061,776	1,088,705	1,090,569	1,082,772
	割合	100.0	100.7	99.1	98.7	98.0	95.8	94.3	92.2	89.2	91.5	91.6	91.0

- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口=3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業生数=高校生+フリーター+就職者 すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。

18歳人口予測(男子：東北：2015～2025年)

■ 2015年44740人→2025年37470人(7270人減少)

- ・ 男子は11年間で7270人・16.2%減少し、全国の減少率8.0%を大きく上回る。
- ・ 2023年に36843人まで減少した後、2025年に向け627人微増する。
- ・ 減少率が高いのは、青森県(2015年比76.4)、秋田県(78.6%)、福島県(80.0)。

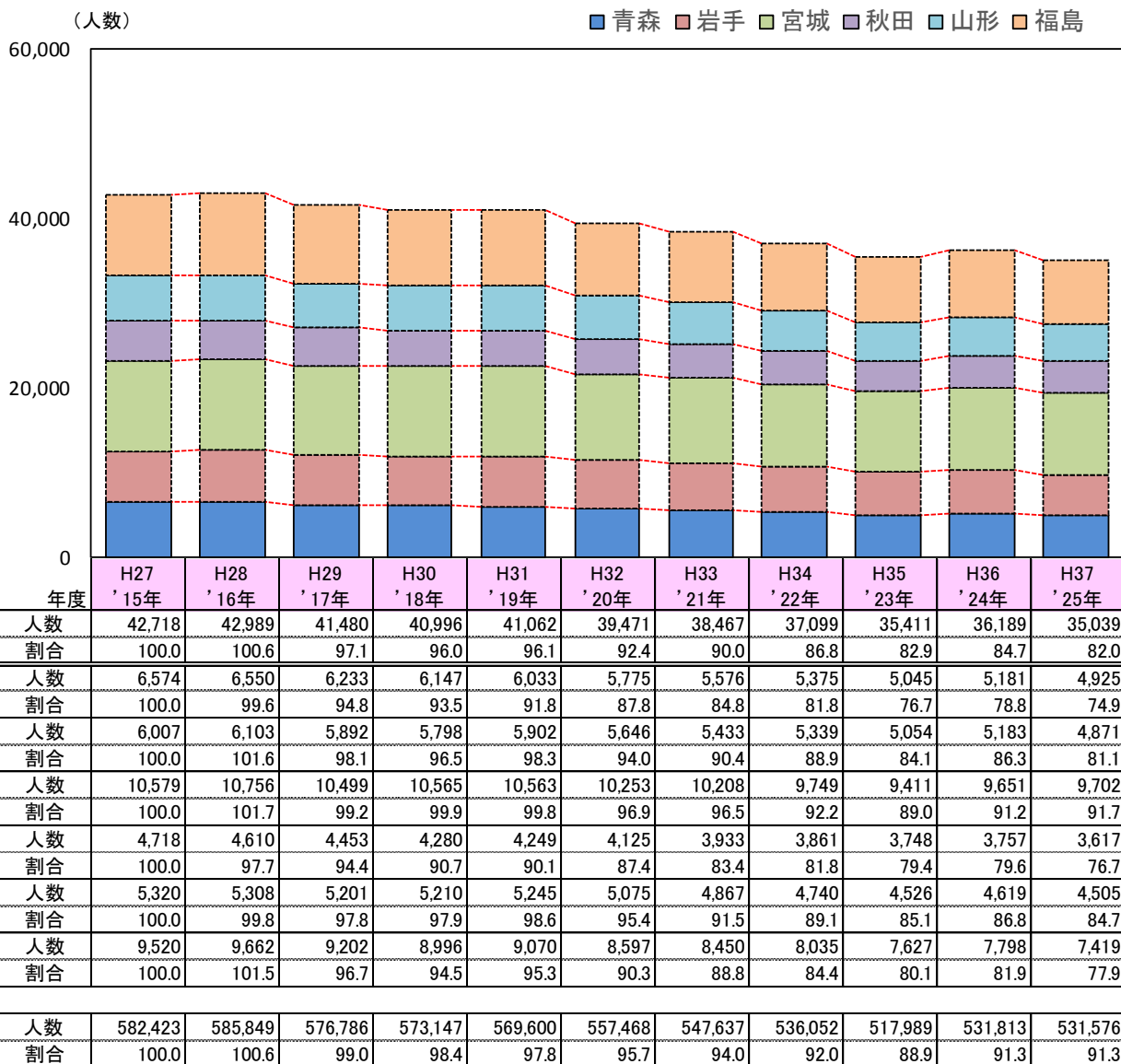


- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。

18歳人口予測(女子：東北：2015～2025年)

■ 2015年42718人→2025年35039人(7679人減少)

- ・ 女子は11年間で7679人・18.0%減少し、全国の減少率8.7%を大きく上回る。
- ・ 男子よりも減少数・減少率ともに大きい。
- ・ 2023年に35411人まで減少した後、翌年約800人増加するが、2025年に向け1150人減少し、11年間で最も少なくなる。
- ・ 減少率が高いのは、青森県(2015年比74.9)、秋田県(76.7)、福島県(77.9)。



- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口＝3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業生数＝高校生＋フリーター＋就職者 すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。

進学者数・進学率・残留率(現役：東北：2005～2014年)

■ 18歳人口全体が21.6%減少する期間に、短大進学者は約35%減少、専門学校進学者は約30%減少

進学者数

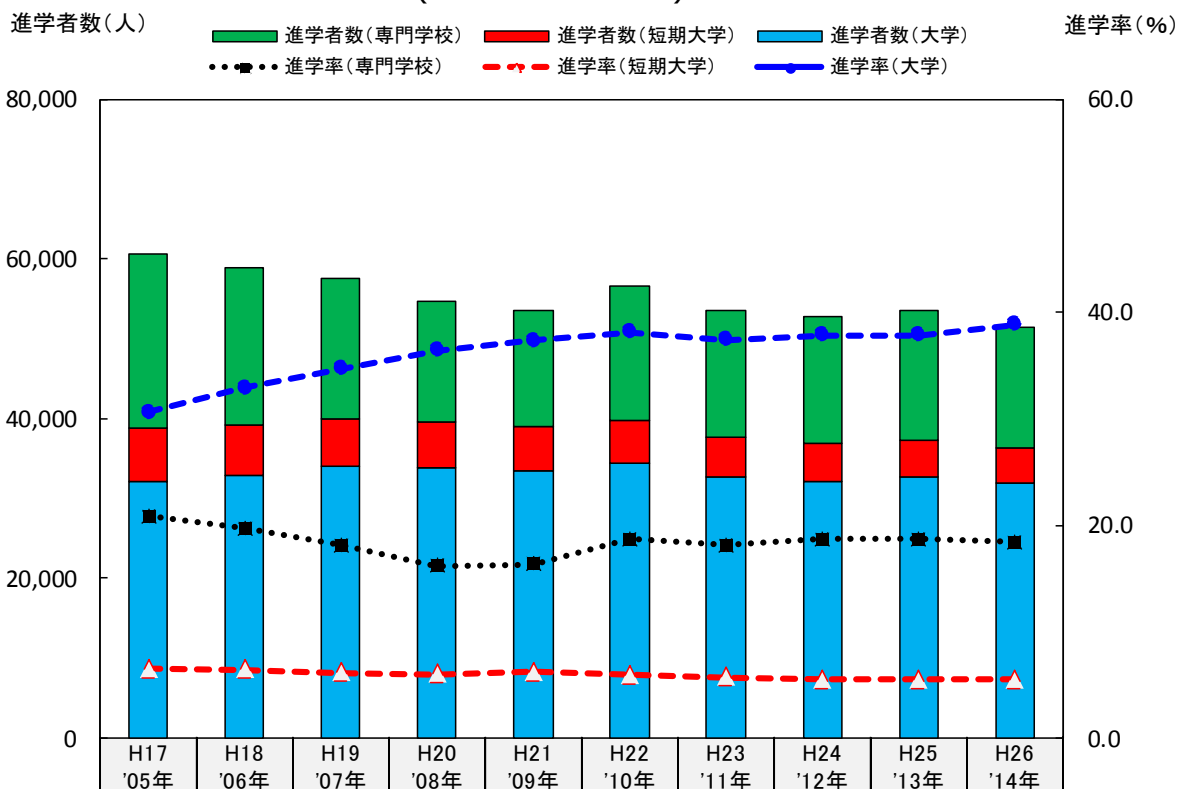
- ・大学は、2005年32027人→2014年31846人(181人減少)と、ほぼ同水準で推移。
- ・短大は、2005年6823人→2014年4495人(2328人減少)と、34.1%減少。
- ・専門学校は、2005年21803人→2014年15131人(6672人減少)と、30.6%減少。
- ・人口が2005年比21.6%減少する期間に、短大・専門学校志願者が大きく減少している。

進学率

- ・大学は、2005年30.6%→2014年38.8%(8.2ポイント上昇)。
- ・短大は、2005年6.5%→2014年5.5%(1.0ポイント低下)。
- ・専門学校は、2005年20.8%→2014年18.4%(2.4ポイント低下)。

残留率

- ・大学は、2005年32.0%→2014年33.6%(1.6ポイント上昇)。
- ・短大は、2005年59.7%→2014年65.4%(5.7ポイント上昇)。



東北	卒業生数		H17 '05年	H18 '06年	H19 '07年	H20 '08年	H21 '09年	H22 '10年	H23 '11年	H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年
	卒業生数			104,770	99,785	98,007	93,178	89,659	90,280	87,394	85,042	86,383
進学者数	大 学		32,027	32,841	33,977	33,893	33,424	34,361	32,686	32,172	32,612	31,846
	短期大学		6,823	6,365	5,960	5,633	5,539	5,351	4,962	4,654	4,716	4,495
	専門学校		21,803	19,650	17,700	15,109	14,625	16,866	15,861	15,903	16,183	15,131
進学率	大 学		30.6	32.9	34.7	36.4	37.3	38.1	37.4	37.8	37.8	38.8
	短期大学		6.5	6.4	6.1	6.0	6.2	5.9	5.7	5.5	5.5	5.5
	専門学校		20.8	19.7	18.1	16.2	16.3	18.7	18.1	18.7	18.7	18.4
残留率	大 学		32.0	32.4	32.4	33.4	33.4	34.7	34.2	33.3	33.7	33.6
	短期大学		59.7	61.3	60.1	61.6	62.8	63.6	65.3	64.1	66.3	65.4

①卒業生数=高等学校全日制・定時制の卒業生数+中等教育後期課程の修了者数
 ②進学者数=卒業生数(①)のうち、大学・短期大学・専修学校(専門課程)に進学した数
 ③進学率=進学者数(②)÷卒業生数(①)×100
 ④残留率=各都道府県の高等学校(全日制・定時制)と中等教育後期課程修了者が地元の大学・短期大学に入学した割合
 ⑤専門学校=専修学校の専門課程

進学者数・進学率・残留率(現役男子：東北：2005～2014年)

■ 大学進学率が5.7ポイント上昇(34.6%→40.3%)するも、人口減少率が高く、進学者は校種問わず減少

進学者数

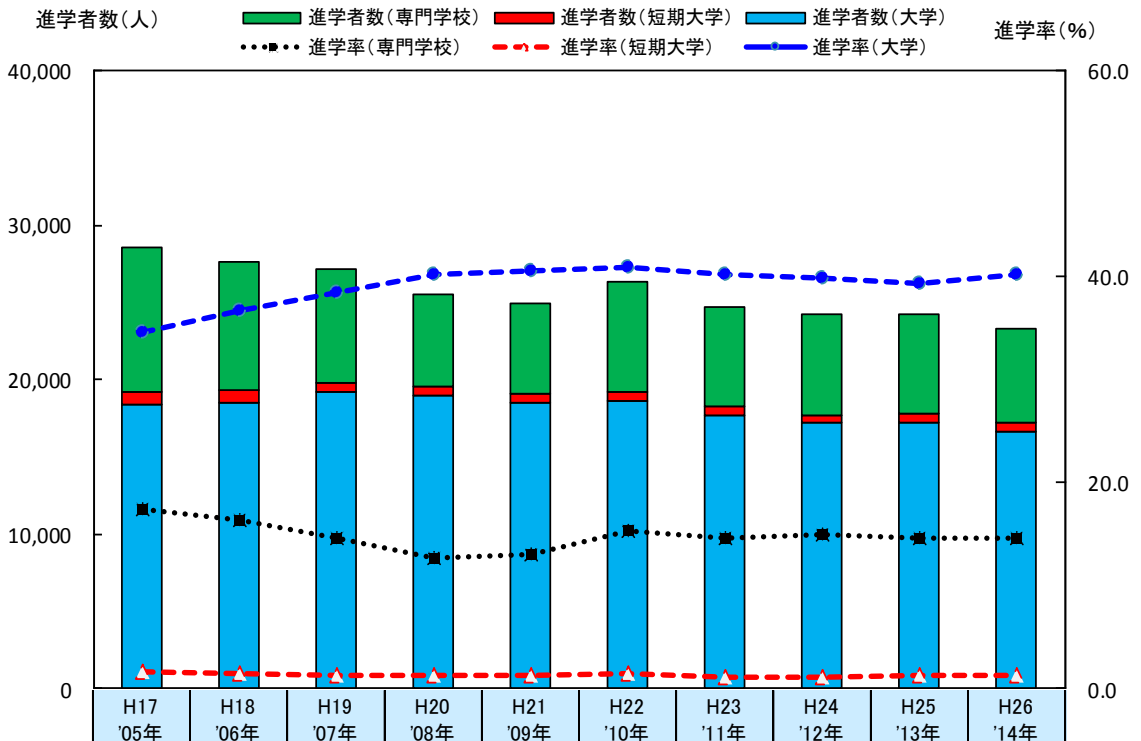
- ・ 大学は、2005年18358人→2014年16707人(1651人減少)。
- ・ 短大は、2005年873人→2014年547人(326人減少)。
- ・ 専門学校は、2005年9295人→2014年6079人(3216人減少)。

進学率

- ・ 大学は、2005年34.6%→2014年40.3%(5.7ポイント上昇)。
- ・ 短大は、2005年1.6%→2014年1.3%(0.3ポイント低下)。
- ・ 専門学校は、2005年17.5%→2014年14.6%(2.9ポイント低下)。

残留率

- ・ 大学は、2005年31.0%→2014年32.7%(1.7ポイント上昇)。
- ・ 短大は、2005年44.0%→2014年64.0%(20.0ポイント上昇)。



		H17 '05年	H18 '06年	H19 '07年	H20 '08年	H21 '09年	H22 '10年	H23 '11年	H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年	
東北	卒業生数	53,081	50,473	49,822	47,142	45,567	45,523	44,131	43,077	43,664	41,500	
	進学者数	大学	18,358	18,536	19,173	18,949	18,503	18,649	17,727	17,209	17,201	16,707
		短期大学	873	770	666	609	587	623	518	527	568	547
		専門学校	9,295	8,295	7,318	5,989	5,908	7,033	6,454	6,467	6,424	6,079
	進学率	大学	34.6	36.7	38.5	40.2	40.6	41.0	40.2	39.9	39.4	40.3
		短期大学	1.6	1.5	1.3	1.3	1.3	1.4	1.2	1.2	1.3	1.3
		専門学校	17.5	16.4	14.7	12.7	13.0	15.4	14.6	15.0	14.7	14.6
	残留率	大学	31.0	31.1	31.0	32.5	32.4	33.9	32.8	32.4	32.7	32.7
		短期大学	44.0	51.3	50.7	53.7	59.1	53.2	64.2	59.5	60.3	64.0

- ① 卒業生数 = 高等学校全日制・定時制の卒業生数+中等教育後期課程の修了者数
- ② 進学者数 = 卒業生数 (①) のうち、大学・短期大学・専修学校(専門課程)に進学した数
- ③ 進学率 = 進学者数 (②) ÷ 卒業生数 (①) × 100
- ④ 残留率 = 各都道府県高等学校(全日制・定時制)と中等教育後期課程修了者が地元の大学・短期大学に入学した割合
- ⑤ 専門学校 = 専修学校の専門課程

進学者数・進学率・残留率(現役女子：東北：2005～2014年)

■ 大学進学者が1470人増加(13669人→15139人)し、大学進学率が10.9ポイント上昇(26.4%→37.3%)する一方で、短大・専門学校進学者は大きく減少

進学者数

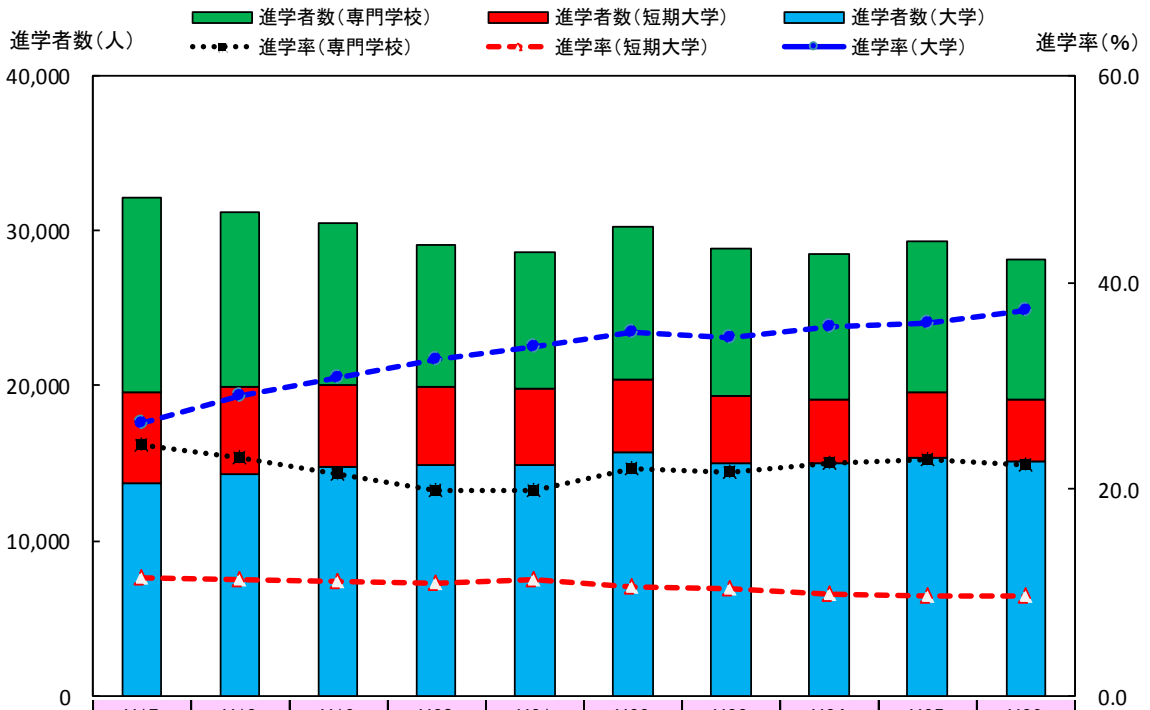
- ・ 大学は、2005年13669人→2014年15139人(1470人増加)と、約10%増加する。
- ・ 短大は、2005年5950人→2014年3948人(2002人減少)。
- ・ 専門学校は、2005年12508人→2014年9052人(3456人減少)。

進学率

- ・ 大学は、2005年26.4%→2014年37.3%(10.9ポイント上昇)、男子と3.0ポイント差に。
- ・ 短大は、2005年11.5%→2014年9.7%(1.8ポイント低下)。
- ・ 専門学校は、2005年24.2%→2014年22.3%(1.9ポイント低下)。

残留率

- ・ 大学は、2005年33.4%→2014年34.6%(1.2ポイント上昇)。
- ・ 短大は、2005年61.9%→2014年65.6%(3.7ポイント上昇)。
- ・ 大学短大ともに女子の地元残留率が高まっている。



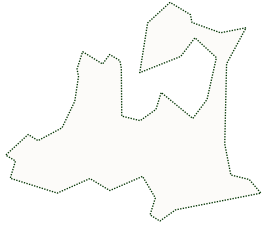
		H17 '05年	H18 '06年	H19 '07年	H20 '08年	H21 '09年	H22 '10年	H23 '11年	H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年	
東北	卒業生数	51,689	49,312	48,185	46,036	44,092	44,757	43,263	41,965	42,719	40,582	
	進学者数	大学	13,669	14,305	14,804	14,944	14,921	15,712	14,959	14,963	15,411	15,139
		短期大学	5,950	5,595	5,294	5,024	4,952	4,728	4,444	4,127	4,148	3,948
		専門学校	12,508	11,355	10,382	9,120	8,717	9,833	9,407	9,436	9,759	9,052
	進学率	大学	26.4	29.0	30.7	32.5	33.8	35.1	34.6	35.7	36.1	37.3
		短期大学	11.5	11.3	11.0	10.9	11.2	10.6	10.3	9.8	9.7	9.7
		専門学校	24.2	23.0	21.5	19.8	19.8	22.0	21.7	22.5	22.8	22.3
	残留率	大学	33.4	34.2	34.5	34.5	34.6	35.6	35.9	34.5	34.9	34.6
		短期大学	61.9	62.7	61.3	62.5	63.3	64.9	65.4	64.7	67.2	65.6

①卒業生数=高等学校全日制・定時制の卒業生数+中等教育後期課程の修了者数
 ②進学者数=卒業生数(①)のうち、大学・短期大学・専修学校(専門課程)に進学した数
 ③進学率=進学者数(②)÷卒業生数(①)×100
 ④残留率=各都道府県高等学校(全日制・定時制)と中等教育後期課程修了者が地元の大学・短期大学に入学した割合
 ⑤専門学校=専修学校の専門課程

進学者数・進学率・残留率推移(現役：県別：2005～2014年)

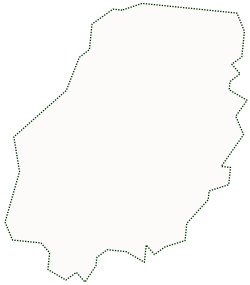
		H17 '05年	H18 '06年	H19 '07年	H20 '08年	H21 '09年	H22 '10年	H23 '11年	H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年	
青森	卒業生数	15,907	15,251	14,693	14,013	13,426	13,760	13,267	13,253	13,330	12,594	
	進学者数	大 学	4,705	4,677	4,749	4,800	4,692	4,816	4,519	4,468	4,532	4,462
		短期大学	996	978	951	905	867	928	910	866	843	793
		専門学校	2,937	2,642	2,304	2,036	1,967	2,150	2,081	2,061	2,054	1,958
	進学率	大 学	29.6	30.7	32.3	34.3	34.9	35.0	34.1	33.7	34.0	35.4
		短期大学	6.3	6.4	6.5	6.5	6.5	6.7	6.9	6.5	6.3	6.3
		専門学校	18.5	17.3	15.7	14.5	14.7	15.6	15.7	15.6	15.4	15.5
	残留率	大 学	35.3	33.5	32.9	33.4	34.0	37.8	35.6	34.0	35.1	35.5
		短期大学	68.9	69.0	68.7	63.6	70.0	73.3	75.3	74.2	74.3	71.2
岩手	卒業生数	15,229	14,283	14,142	13,662	13,283	13,227	12,750	12,382	12,581	11,892	
	進学者数	大 学	4,159	4,360	4,382	4,416	4,433	4,432	4,384	4,291	4,254	4,224
		短期大学	1,004	878	847	847	868	766	782	671	734	714
		専門学校	3,660	3,193	2,947	2,561	2,473	2,931	2,723	2,785	2,686	2,442
	進学率	大 学	27.3	30.5	31.0	32.3	33.4	33.5	34.4	34.7	33.8	35.5
		短期大学	6.6	6.1	6.0	6.2	6.5	5.8	6.1	5.4	5.8	6.0
		専門学校	24.0	22.4	20.8	18.7	18.6	22.2	21.4	22.5	21.3	20.5
	残留率	大 学	23.4	23.9	25.7	27.8	25.8	27.8	28.6	27.8	27.7	27.3
		短期大学	52.8	59.0	58.9	59.2	60.5	56.1	57.2	59.5	59.5	57.5
宮城	卒業生数	24,535	23,638	22,989	21,929	21,079	21,154	20,594	19,965	20,453	19,851	
	進学者数	大 学	8,140	8,486	8,898	9,015	8,878	9,296	8,674	8,608	9,020	8,836
		短期大学	1,126	1,036	843	801	805	720	644	591	741	739
		専門学校	5,104	4,681	4,001	3,247	2,930	3,592	3,556	3,522	3,619	3,382
	進学率	大 学	33.2	35.9	38.7	41.1	42.1	43.9	42.1	43.1	44.1	44.5
		短期大学	4.6	4.4	3.7	3.7	3.8	3.4	3.1	3.0	3.6	3.7
		専門学校	20.8	19.8	17.4	14.8	13.9	17.0	17.3	17.6	17.7	17.0
	残留率	大 学	55.6	56.9	57.5	59.5	59.0	59.8	59.8	58.2	57.6	56.9
		短期大学	57.0	58.0	51.1	56.4	59.0	54.6	59.6	59.8	72.6	79.0
秋田	卒業生数	11,800	11,333	11,014	10,612	10,035	9,887	9,803	9,441	9,776	9,089	
	進学者数	大 学	3,537	3,647	3,641	3,662	3,659	3,731	3,638	3,486	3,483	3,399
		短期大学	1,001	1,007	947	898	723	798	709	738	690	625
		専門学校	2,369	2,143	2,029	1,666	1,663	1,822	1,743	1,681	1,800	1,683
	進学率	大 学	30.0	32.2	33.1	34.5	36.5	37.7	37.1	36.9	35.6	37.4
		短期大学	8.5	8.9	8.6	8.5	7.2	8.1	7.2	7.8	7.1	6.9
		専門学校	20.1	18.9	18.4	15.7	16.6	18.4	17.8	17.8	18.4	18.5
	残留率	大 学	22.0	22.6	20.6	19.7	21.5	22.4	21.4	21.5	23.5	23.1
		短期大学	56.2	53.3	52.3	56.8	55.6	59.4	58.7	59.8	59.4	51.3
山形	卒業生数	13,527	12,831	12,960	12,129	11,622	11,728	11,254	10,901	11,176	10,553	
	進学者数	大 学	4,309	4,440	4,725	4,579	4,421	4,472	4,402	4,303	4,232	4,041
		短期大学	1,039	941	917	835	948	827	741	657	649	610
		専門学校	2,819	2,608	2,497	2,206	2,100	2,373	2,163	2,148	2,144	1,998
	進学率	大 学	31.9	34.6	36.5	37.8	38.0	38.1	39.1	39.5	37.9	38.3
		短期大学	7.7	7.3	7.1	6.9	8.2	7.1	6.6	6.0	5.8	5.8
		専門学校	20.8	20.3	19.3	18.2	18.1	20.2	19.2	19.7	19.2	18.9
	残留率	大 学	16.4	18.7	17.7	17.6	17.0	19.2	19.1	18.5	18.9	18.9
		短期大学	59.3	62.1	62.2	63.8	63.6	64.1	66.1	62.2	66.8	64.6
福島	卒業生数	23,772	22,449	22,209	20,833	20,214	20,524	19,726	19,100	19,067	18,103	
	進学者数	大 学	7,177	7,231	7,582	7,421	7,341	7,614	7,069	7,016	7,091	6,884
		短期大学	1,657	1,525	1,455	1,347	1,328	1,312	1,176	1,131	1,059	1,014
		専門学校	4,914	4,383	3,922	3,393	3,492	3,998	3,595	3,706	3,880	3,668
	進学率	大 学	30.2	32.2	34.1	35.6	36.3	37.1	35.8	36.7	37.2	38.0
		短期大学	7.0	6.8	6.6	6.5	6.6	6.4	6.0	5.9	5.6	5.6
		専門学校	20.7	19.5	17.7	16.3	17.3	19.5	18.2	19.4	20.3	20.3
	残留率	大 学	20.6	19.7	19.4	19.7	20.9	20.0	20.2	19.8	19.0	19.3
		短期大学	62.4	64.5	64.1	66.6	65.1	67.6	68.7	64.8	63.7	64.8

青森県



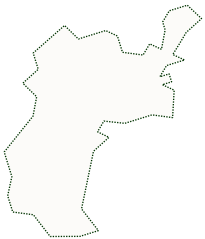
学校数：大学 10(国1・公2・私7)／短大 5(私5)／専門学校 28(公3・私25)
卒業生数：15907人→12594人(3313人減少)
進学者数：
 大学 4705人→4462人(243人減少)／短大 996人→793人(203人減少)
 専門学校 2937人→1958人(979人減少)
進学率：
 大学 29.6%→35.4%(5.8ポイント上昇)／短大 6.3%→6.3%(変化なし)
 専門学校 18.5%→15.5%(3.0ポイント低下)
残留率：
 大学 35.3%→35.5%(0.2ポイント上昇)／短大 68.9%→71.2%(2.3ポイント上昇)
人口流出先：
 大学 1位東京都(640人)、2位宮城県(563人)、3位北海道(344人)
 短大 1位宮城県(57人)、2位岩手県(51人)、3位東京都(36人)
人口流入元：
 大学 1位北海道(462人)、2位岩手県(250人)、3位秋田県(191人)
 短大 1位岩手県(47人)、2位秋田県(39人)、3位東京都(4人)

岩手県



学校数：大学 5(国1・公1・私3)／短大 5(公2・私3)／専門学校 31(公4・私27)
卒業生数：15229人→11892人(3337人減少)
進学者数：
 大学 4159人→4224人(65人増加)／短大 1004人→714人(290人減少)
 専門学校 3660人→2442人(1218人減少)
進学率：
 大学 27.3%→35.5%(8.2ポイント上昇)／短大 6.6%→6.0%(0.6ポイント低下)
 専門学校 24.0%→20.5%(3.5ポイント低下)
残留率：
 大学 23.4%→27.3%(3.9ポイント上昇)／短大 52.8%→57.5%(4.7ポイント上昇)
人口流出先：
 大学 1位宮城県(771人)、2位東京都(541人)、3位北海道(270人)
 短大 1位宮城県(91人)、2位青森県(47人)、3位東京都(41人)
人口流入元：
 大学 1位宮城県(327人)、2位青森県(249人)、3位秋田県(171人)
 短大 1位青森県(51人)、2位秋田県(30人)、3位宮城県(20人)

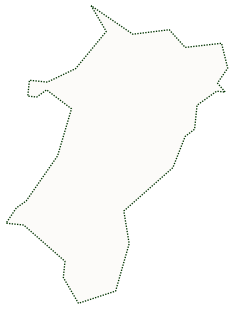
宮城県



学校数：大学 14(国2・公1・私11)／短大 4(私4)／専門学校 59(国1・公3・私55)
卒業生数：24535人→19851人(4684人減少)
進学者数：
 大学 8140人→8836人(696人増加)／短大 1126人→739人(387人減少)
 専門学校 5104人→3382人(1722人減少)
進学率：
 大学 33.2%→44.5%(11.3ポイント上昇)／短大 4.6%→3.7%(0.9ポイント低下)
 専門学校 20.8%→17.0%(3.8ポイント低下)
残留率：
 大学 55.6%→56.9%(1.3ポイント上昇)／短大 57.0%→79.0%(22.0ポイント上昇)
人口流出先：
 大学 1位東京都(1174人)、2位山形県(548人)、3位神奈川県(414人)
 短大 1位福島県(44人)、2位東京都(43人)、3位山形県(22人)
人口流入元：
 大学 1位福島県(997人)、2位山形県(863人)、3位岩手県(771人)
 短大 1位岩手県(91人)、2位山形県(75人)、3位福島県(74人)

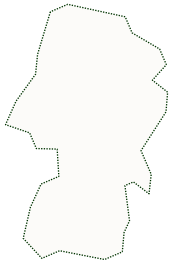
①卒業生数 = 高等学校全日制・定時制の卒業生数+中等教育後期課程の修了者数
 ②進学者数 = 卒業生数 (①) のうち、大学・短期大学・専修学校（専門課程）に進学した数
 ③進学率 = 進学者数 (②) ÷ 卒業生数 (①) × 100
 ④残留率 = 各都道府県の高等学校（全日制・定時制）と中等教育後期課程修了者が地元の大学・短期大学に入学した割合
 ⑤専門学校 = 専修学校の専門課程

秋田県



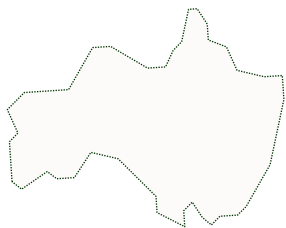
学校数：大学 7(国1・公3・私3)／短大 5(公1・私4)／専門学校 20(公1・私19)
卒業者数：11800人→9089人(2711人減少)
進学者数：
 大学 3537人→3399人(138人減少)／短大 1001人→625人(376人減少)
 専門学校 2369人→1683人(686人減少)
進学率：
 大学 30.0%→37.4%(7.4ポイント上昇)／短大 8.5%→6.9%(1.6ポイント低下)
 専門学校 20.1%→18.5%(1.6ポイント低下)
残留率：
 大学 22.0%→23.1%(1.1ポイント上昇)／短大 56.2%→51.3%(4.9ポイント低下)
人口流出先：
 大学 1位東京都(558人)、2位宮城県(528人)、3位神奈川県(207人)
 短大 1位宮城県(62人)、2位東京都(46人)、3位青森県(39人)
人口流入元：
 大学 1位岩手県(166人)、2位青森県(111人)、3位新潟県(90人)
 短大 1位山形県(19人)、2位岩手県(4人)、3位青森県・宮城県・福島県・東京都・神奈川県(1人)

山形県



学校数：大学 6(国1・公2・私3)／短大 3(公1・私2)／専門学校 20(公4・私16)
卒業者数：13527人→10553人(2974人減少)
進学者数：
 大学 4309人→4041人(268人減少)／短大 1039人→610人(429人減少)
 専門学校 2819人→1998人(821人減少)
進学率：
 大学 31.9%→38.3%(6.4ポイント上昇)／短大 7.7%→5.8%(1.9ポイント低下)
 専門学校 20.8%→18.9%(1.9ポイント低下)
残留率：
 大学 16.4%→18.9%(2.5ポイント上昇)／短大 59.3%→64.6%(5.3ポイント上昇)
人口流出先：
 大学 1位宮城県(863人)、2位東京都(710人)、3位神奈川県(305人)
 短大 1位宮城県(75人)、2位福島県(31人)、3位東京都(25人)
人口流入元：
 大学 1位宮城県(548人)、2位福島県(188人)、3位新潟県(128人)
 短大 1位福島県(35人)、2位新潟県(32人)、3位岩手県(30人)

福島県



学校数：大学 8(国1・公2・私5)／短大 5(公1・私4)／専門学校 40(公4・私36)
卒業者数：23722人→18103人(5619人減少)
進学者数：
 大学 7177人→6884人(293人減少)／短大 1657人→1014人(643人減少)
 専門学校 4914人→3668人(1246人減少)
進学率：
 大学 30.2%→38.0%(7.8ポイント上昇)／短大 7.0%→5.6%(1.4ポイント低下)
 専門学校 20.7%→20.3%(0.4ポイント低下)
残留率：
 大学 20.6%→19.3%(1.3ポイント低下)／短大 62.4%→64.8%(2.4ポイント上昇)
人口流出先：
 大学 1位東京都(1631人)、2位宮城県(997人)、3位神奈川県(687人)
 短大 1位東京都(81人)、2位宮城県(74人)、3位山形県(35人)
人口流入元：
 大学 1位茨城県(243人)、2位宮城県(215人)、3位栃木県(207人)
 短大 1位宮城県(44人)、2位山形県(31人)、3位岩手県(16人)

①卒業者数 = 高等学校全日制・定時制の卒業者数+中等教育後期課程の修了者数
 ②進学者数 = 卒業者数 (①) のうち、大学・短期大学・専修学校（専門課程）に進学した数
 ③進学率 = 進学者数 (②) ÷ 卒業者数 (①) × 100
 ④残留率 = 各都道府県の高専（全日制・定時制）と中等教育後期課程修了者が地元の大学・短期大学に入学した割合
 ⑤専門学校 = 専修学校の専門課程

都道府県別入学志願者数 推移表

都道府県 コード	人文学部・教養学部					薬学部					全学部					
	H22	H23	H24	H25	H27	H22	H23	H24	H25	H27	H22	H23	H24	H25	H26	H27
北海道	3	5	1	2		4	6	3	4	5	3	7	11	4	6	3
青森県	6	10	1	6	1	4	4	1	1	2	3	10	14	2	7	6
岩手県	19	14	1	6	2	8	5	2	1	3	2	27	19	3	7	4
宮城県	26	21	6	10	5	18	19	7	13	17	34	44	40	13	23	39
秋田県	20	23	1	5	3	9	15	1	3	6	6	29	38	2	8	9
山形県	40	57	14	13	9	8	7	4	11	7	5	48	64	18	24	16
福島県(県北)	16	20	7	8	4	5	15	5	14	14	2	21	35	12	22	6
福島県(県中南)	42	46	26	21	11	7	6	14	7	12	17	49	52	40	28	28
福島県(会津)	24	14	9	6	4	5	3	1		3	3	29	17	10	6	7
福島県(いわき)	101	101	84	71	81	60	38	67	52	79	110	161	139	151	123	144
福島県(相双)	16	24	15	11	7	5	7	2	3	4	10	21	31	17	14	9
茨城県	37	32	20	21	14	16	18	18	22	28	30	53	50	38	43	42
栃木県	4	7		2	3	6	5	4	2	7	8	10	12	4	4	10
群馬県	1	1	1	2		2	2		6	2	1	3	1	0	8	2
埼玉県		2	1			2	1		1	1	3	2	3	1	1	3
千葉県	2	3	3		1	1	1	2			0	1	4	2	0	1
東京都	2	1	3		1	2	1	1	2	3	6	4	2	4	2	3
神奈川県	2			1						1	2	2	0	0	1	1
新潟県	19	9	8	6	4	7	9	1	6	8	5	26	18	9	12	6
富山県							1					0	1	0	0	0
石川県	1	1							1			1	1	0	1	0
山梨県						1				1		1	0	0	0	1
長野県		2				3	1		2	2	4	3	3	0	2	2
静岡県						2	2		2	1		2	2	0	2	1
愛知県		1			1		1					0	2	0	0	0
三重県	1	1							1			1	1	0	1	0
京都府											1	0	0	0	0	1
大阪府					1		1			1	1	0	1	0	0	1
兵庫県							1					0	1	0	0	0
奈良県										1		0	0	0	0	1
和歌山県										1		0	0	0	0	0
広島県						1				1		1	0	0	0	1
山口県									1			0	0	0	1	0
福岡県							1					0	1	0	0	0
宮崎県								1				0	0	0	0	0
鹿児島県		2										0	0	1	0	0
沖縄県		1			1							2	2	0	0	1
高卒認定試験等	4	5	4	1	3	9	3		2	1	1	13	8	4	3	2
合計	384	403	201	192	147	187	172	134	159	213	258	571	575	335	351	371
福島県全体	199	205	141	117	107	82	69	89	76	112	142	281	274	230	193	213
福島県+宮城県+茨城県	262	258	167	148	128	116	106	114	111	157	206	378	364	281	259	280
																334

**いわき明星大学「看護学部」(仮称)
設置に関するアンケート調査
【医療機関対象調査】
結果報告書**

**平成28年3月
株式会社 進研アド**

医療機関対象 調査概要

1. 調査目的

2017年4月開設予定の「いわき明星大学 看護学部」の新設構想に関して、医療機関の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		医療機関対象調査
調査対象		医療機関の人事関連業務担当者
調査エリア		福島県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	415件
	回収数(回収率)	132件(31.8%)
調査時期		2016年1月18日(月)～2016年2月5日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

医療機関対象調査
・人事採用への関与度
・医療機関所在地
・医療機関種類
・勤務している「看護師」数
・「看護師」の平均採用人数
・本年度の新規大卒者「看護師」採用予定数
・採用したい学問系統
・「看護学部」の特色に対する魅力度
・「看護学部」の社会的必要性
・「看護学部」卒業生の採用意向
・「看護学部」卒業生の毎年の「看護師」採用想定人数

医療機関対象 調査結果まとめ



医療機関対象 調査結果まとめ

回答医療機関(回答者)の属性

※ 本調査は、いわき明星大学の新学部である「看護学部」に対する人材需要を確認する目的の調査として設計したため、いわき明星大学卒業生の採用者数が多い福島県の医療機関の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、132件から回答を得た。

- 回答医療機関の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は52.3%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が37.9%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答医療機関の所在地はいわき明星大学の所在地である「福島県」が100.0%。
- 回答医療機関の種類としては「病院」が47.0%と最も高く、次いで「診療所・クリニック」が34.1%と高い。
- 回答医療機関に現在勤務している「看護師」数を自由記述で聴取したところ、「1～5名未満」が25.8%で最も高く、次いで「5～10名未満」が18.2%。

回答医療機関の採用状況(過去3か年)

- 回答医療機関の過去3か年の平均的な「看護師」の採用数を自由記述で聴取したところ、「1～5名未満」が45.5%で最も高く、次いで「0名」が15.9%、「5～10名未満」が14.4%。
- 回答医療機関の本年度の新規大卒者「看護師」採用予定数は、「増やす」が40.9%で最も高い。
- 回答医療機関の採用したい学問系統は、「看護・保健学系統」が87.1%で最も高く、次いで「医学系統」が36.4%、「薬学系統」が28.0%と続く。

医療機関対象 調査結果まとめ

「看護学部」の特色に対する魅力度

- 「看護学部」の特色に対する魅力度(※)は、3項目全てにおいて8割を超える。
- 中でも、「高度な専門教育に加え、病院等と連携した臨地実習や災害看護にも力を入れ、地域医療の課題解決や人々の生活に寄り添う地域基盤型看護師を育成します。」が96.2%で、特色3項目中最も高い。
- 次いで、「教養学部、薬学部との連携により、新しい時代に向けた教養教育、医療心理・福祉系専門教育、医療基礎教育等を有機的に実施します。」(90.9%)が高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

「看護学部」の社会的必要性

- 「看護学部」の社会的必要性について、「必要だと思う」と答えた医療機関は99.2% (131件)と、多くの医療機関でこれからの社会にとって必要だと認識されている。

医療機関対象 調査結果まとめ

「看護学部」卒業生の採用意向／ 毎年の「看護師」採用想定人数

- 「看護学部」卒業生を「採用したいと思う」と答えた医療機関は90.9% (120件)であり、予定されている入学定員(80人)の1.5倍である。
- 「看護学部」卒業生を「採用したいと思う」と答えた120件の医療機関へ「看護学部」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取したところ、毎年の採用想定人数の合計は223名程度であった。
このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

採用意向 属性別傾向

◇種類別

- 「病院」からの採用意向は98.4% (61件)と最も高い。「診療所・クリニック」からの採用意向は80.0% (36件)である。

◇採用予定別

- 本年度における「看護師」の新規大卒者の採用予定数を「増やす」(54件)及び「昨年度並み」(18件)と答えた医療機関の採用意向は100%である。

◇採用したい学問系統別

- 「看護学部」と関連のある「看護・保健学系統」を学んだ学生を採用したいと考える医療機関からの採用意向は93.9% (108件)である。

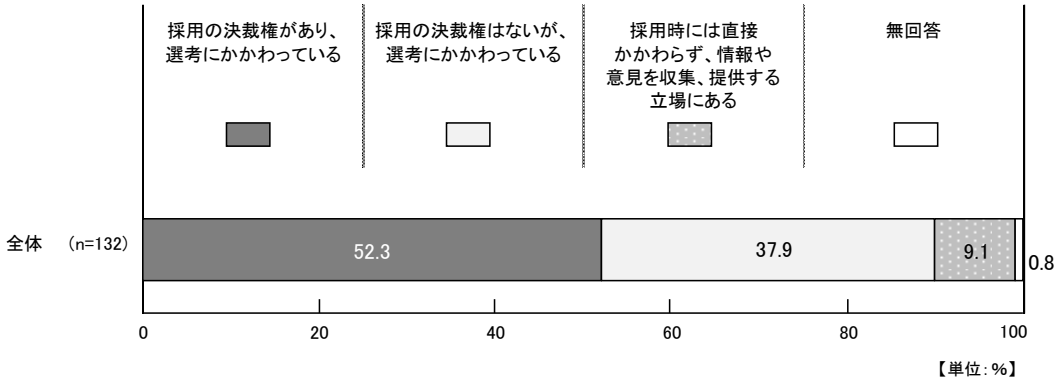
医療機関対象 調査結果

A blue decorative bar with a gradient from dark blue on the left to light blue on the right, positioned below the title.

回答医療機関(回答者)の属性(人事採用への関与度／医療機関所在地／医療機関種類／勤務している「看護師」数)

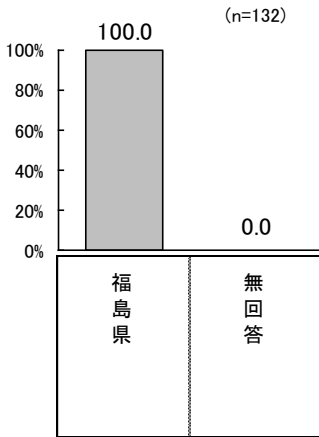
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまるもの1つだけ)



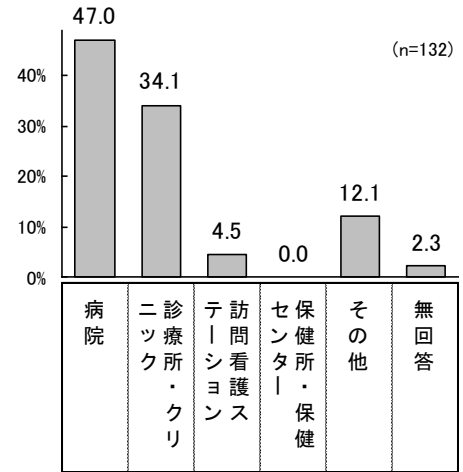
■医療機関所在地

Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。



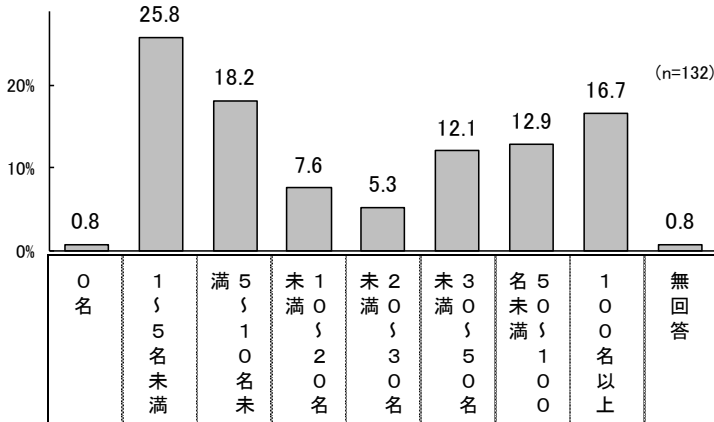
■医療機関種類

Q3. 貴院・貴団体について、種類をお教えてください。(あてはまるもの1つだけ)



■勤務している「看護師」数

Q4. 貴院・貴団体に、現在「看護師」として勤務されている方の人数について、お教えてください。

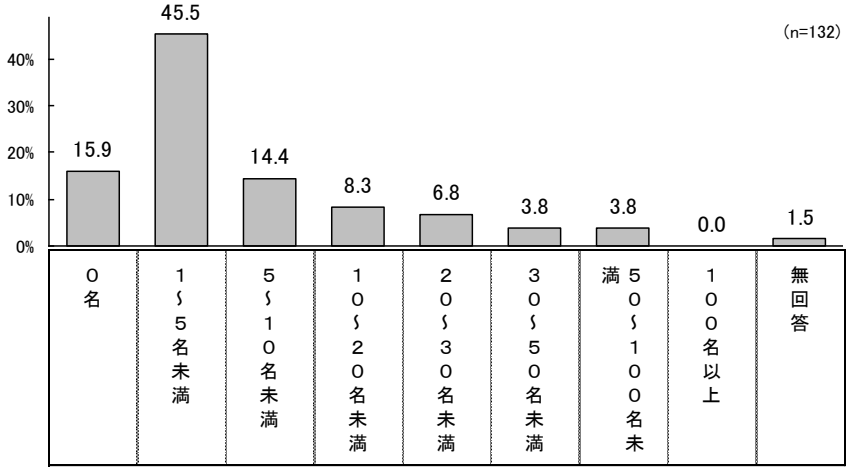


※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けしてグラフ化

「看護師」の平均採用人数／本年度の新規大卒者「看護師」採用予定数／採用したい学問系統

■「看護師」の平均採用人数

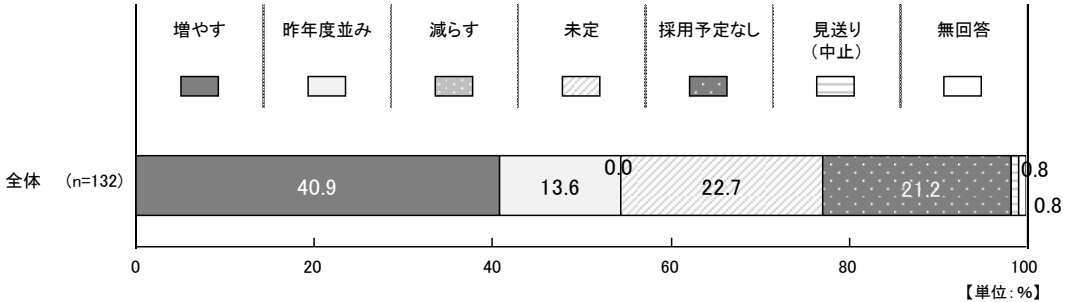
Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な「看護師」の採用数について、お教えてください。



※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けしてグラフ化

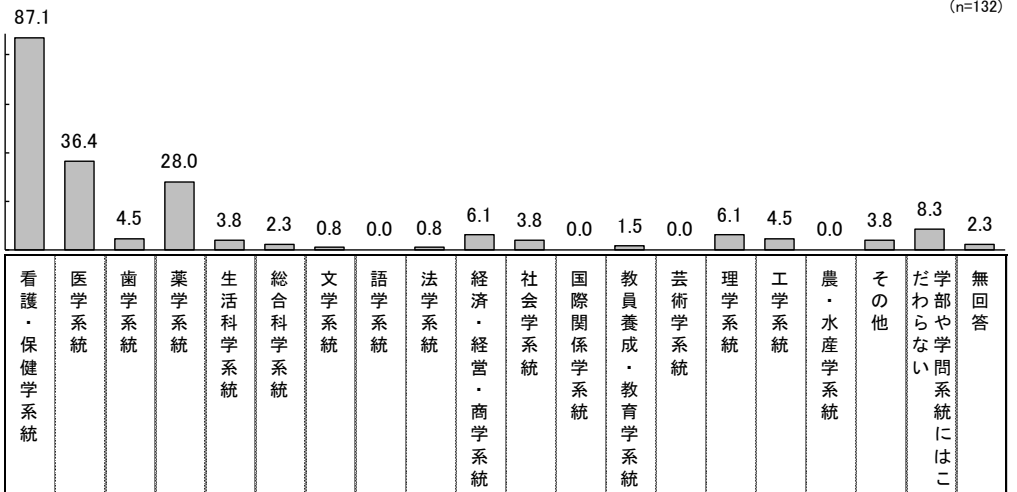
■本年度の新規大卒者「看護師」採用予定数

Q6. 貴院・貴団体の本年度における「看護師」の新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまるもの1つだけ)



■採用したい学問系統

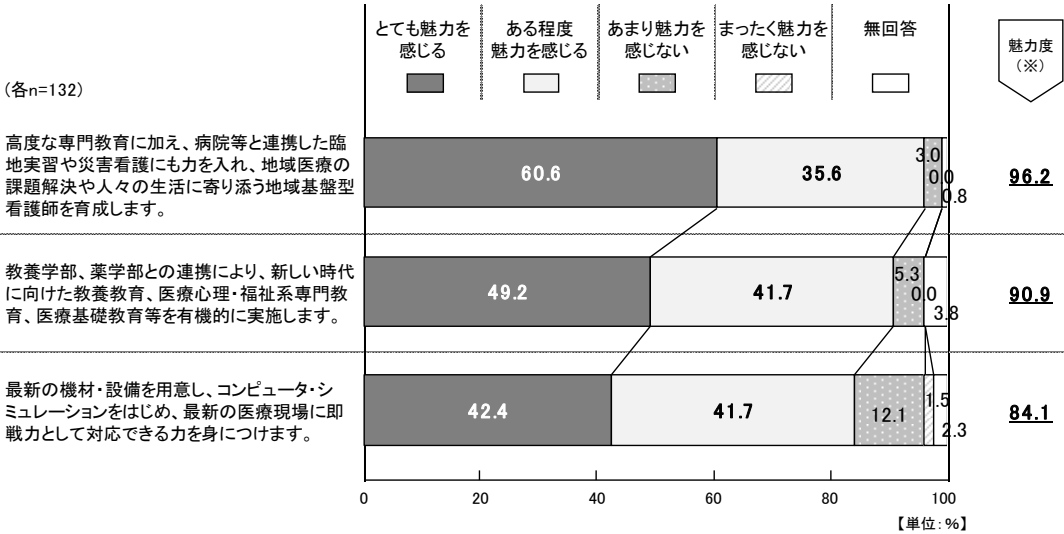
Q7. 貴院・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまるものすべて)



「看護学部」の特色に対する魅力度

■「看護学部」の特色に対する魅力度

Q8. いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
 貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
 (それぞれ、あてはまるものを1つだけ)



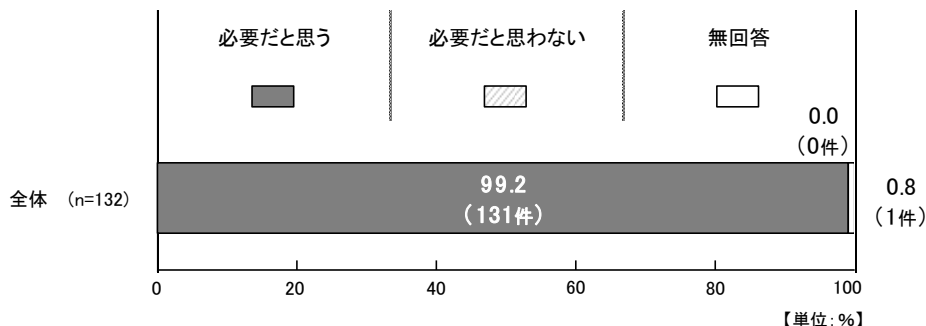
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに％を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「看護学部」の社会的必要性／卒業生の採用意向／卒業生の毎年の「看護師」採用想定人数

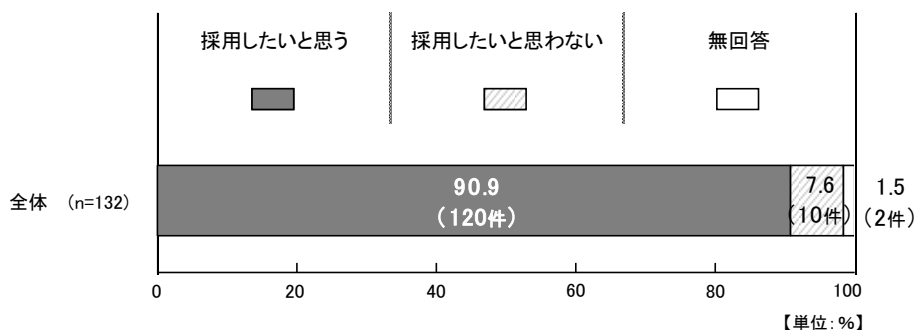
■「看護学部」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)はいわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)はこれからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまるもの1つだけ)



■「看護学部」卒業生の採用意向

Q10. 貴院・貴団体では、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(あてはまるもの1つだけ)



「看護学部」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた120件のみ抽出

■「看護学部」卒業生の毎年の「看護師」採用想定人数

Q11. Q10で「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した看護師について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまるもの1つだけ)

※尚、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	無回答	毎年の採用想定 (名)
		%	%	%	%	%	%			
全体	%	12.5	15.0	15.8	0.0	4.2	2.5	50.0	0.0	223
	件	15	18	19	0	5	3	60	0	

⇒

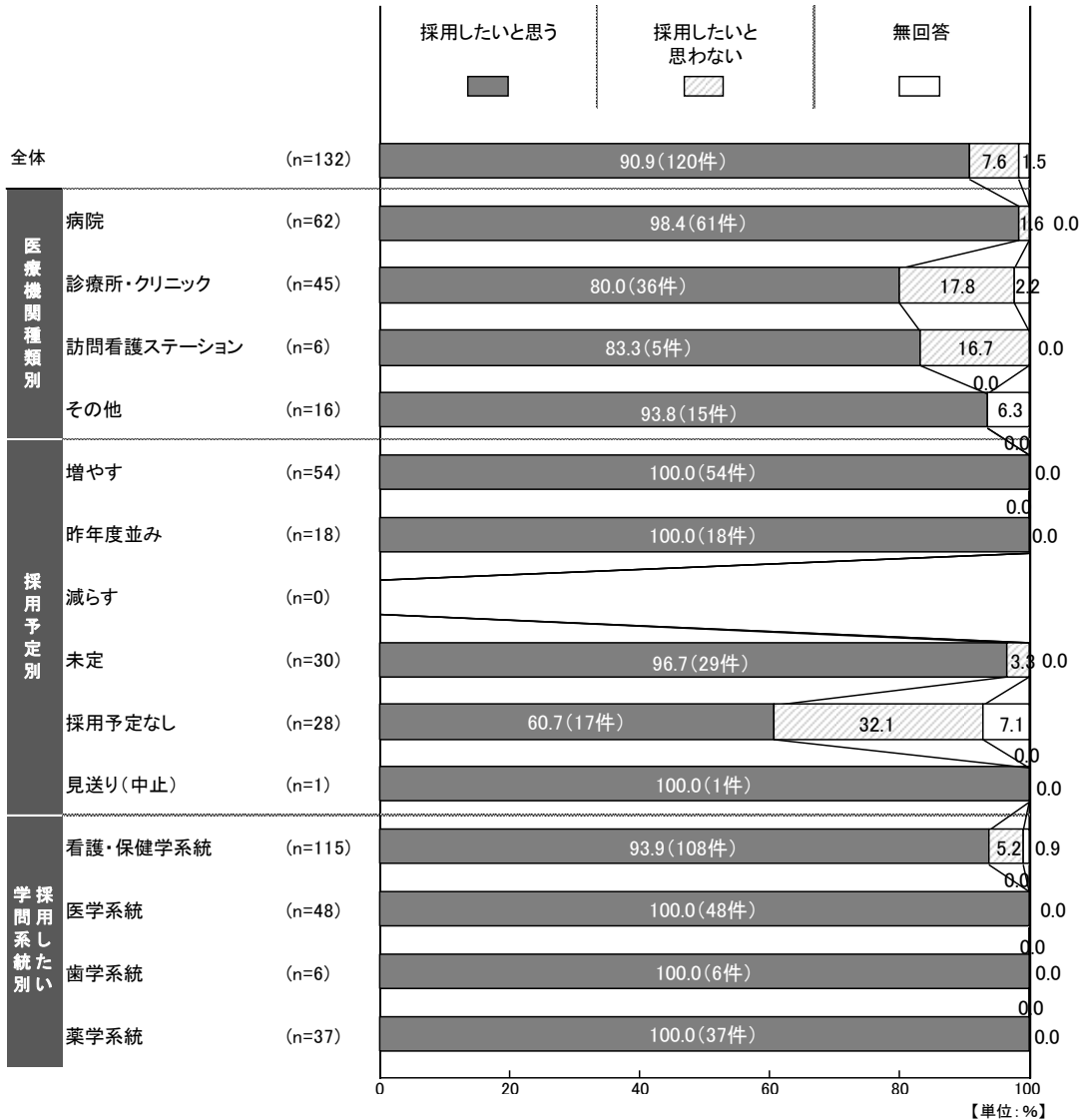
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出

「看護学部」卒業生の採用意向 <属性別>

■「看護学部」卒業生の採用意向

Q10. 貴院・貴団体では、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つだけ)

<属性別>



卷末資料 調查票



医療機関対象 調査票

15037

No.

いわき明星大学 看護学部 に関するアンケート

いわき明星大学では2017年(平成29年)4月より、「看護学部」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「看護学部」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の口枠に✓をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】

Q. どのような学部を卒業した人物を採用したいですか。(いくつでも)

文学 法学 社会学 医学 法学 社会学
 語学 国際関係 語学 国際関係

はじめに、貴院・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

- 採用の決裁権があり、選考にかかわっている 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている

Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。

所在地 都 道 府 県 ←1つだけ

Q3. 貴院・貴団体について、種類をお教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

- 病院 訪問看護ステーション その他
 診療所・クリニック 保健所・保健センター

Q4. 貴院・貴団体に、現在「看護師」として勤務されている方の人数について、お教えてください。

現在 名程度 ※アラビア数字(1,2,3・・・)でご記入ください。

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な「看護師」の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均 名程度 ※アラビア数字(1,2,3・・・)でご記入ください。

Q6. 貴院・貴団体の本年度における「看護師」の新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまるもの1つだけ)

- 増やす 減らす 採用予定なし
 昨年度並み 未定 見送り(中止)

裏面へ続く→

医療機関対象 調査票

15038

Q7. 貴院・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまるものすべて)

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 看護・保健学系統 | <input type="checkbox"/> 語学系統 | <input type="checkbox"/> 理学系統 |
| <input type="checkbox"/> 医学系統 | <input type="checkbox"/> 法学系統 | <input type="checkbox"/> 工学系統 |
| <input type="checkbox"/> 歯学系統 | <input type="checkbox"/> 経済・経営・商学系統 | <input type="checkbox"/> 農・水産学系統 |
| <input type="checkbox"/> 薬学系統 | <input type="checkbox"/> 社会学系統 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 生活科学系統 | <input type="checkbox"/> 国際関係学系統 | <input type="checkbox"/> 学部や学問系統にはこだわらない |
| <input type="checkbox"/> 総合科学系統 | <input type="checkbox"/> 教員養成・教育学系統 | |
| <input type="checkbox"/> 文学系統 | <input type="checkbox"/> 芸術学系統 | |

いわき明星大学では、2017年(平成29年)4月に、
新しく「看護学部」(仮称)を設置することを構想しています。
※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください※

Q8. いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまるものを1つだけ)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	〇〇が身につきます。	→ <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A.	高度な専門教育に加え、病院等と連携した臨地実習や災害看護にも力を入れ、地域医療の課題解決や人々の生活に寄り添う地域基盤型看護師を育成します。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	教養学部、薬学部との連携により、新しい時代に向けた教養教育、医療心理・福祉系専門教育、医療基礎教育等を有機的に実施します。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	最新の機材・設備を用意し、コンピュータ・シミュレーションをはじめ、最新の医療現場に即戦力として対応できる力を身につけます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)はこれからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまるもの1つだけ)

- 必要だと思う 必要だと思わない

Q10. 貴院・貴団体では、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つだけ)

- 採用したいと思う 採用したいと思わない

Q11. Q10で「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、いわき明星大学「看護学部」(仮称、設置構想中)を卒業した看護師について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまるもの1つだけ)

※尚、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

- 1名 3名 5名～9名 人数は未確定
 2名 4名 10名以上

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。